

平成21年度（平成20年度対象）  
教育委員会の権限に属する事務の管理  
及び執行の状況の点検及び評価報告書

平成22年3月  
大野城市教育委員会

## 目 次

1. 趣旨	・・・・・・・・・・	P 1
2. 委員会の活動状況等	・・・・・・・・・・	P 1
3. 事務事業の点検・評価	・・・・・・・・・・	P 4

## 1. 趣旨

平成19年6月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律が改正され、平成20年4月から教育委員会が毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに公表しなければならないこととなりました。

本報告書は、この趣旨を定めた同法第27条の規定に基づき作成したものです。

### 地方教育行政の組織及び運営に関する法律

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 2. 委員会の活動状況等

### (1) 委員会の構成

(平成21年10月1日現在)

委員の 区 別	氏 名	年 齢	委員としての任期		当該職 (委員の区別欄) の 就任年月日
			任命年月日	満了年月日	
委員長	高良 孝純	71	平成19年6月26日 (H15. 6. 26)	平成23年6月25日	平成21年6月26日 (H17. 6. 26)
委員長 職 務 代 理	北崎 明美	54	平成20年10月1日 (H16. 10. 1)	平成24年9月30日	平成21年6月26日
委 員	山本 朋子	46	平成20年10月1日 (H16. 10. 1)	平成24年9月30日	平成20年10月1日
委 員	関井 利夫	57	平成19年6月26日	平成23年6月25日	平成19年6月26日
教育長	古賀 宮太	61	平成19年6月26日 (H15. 6. 26)	平成23年6月25日	平成19年6月26日 (H15. 6. 26)

注) 「委員としての任期」欄の( )書は、最初の委員任命年月日

「当該職の就任年月日」欄の( )書は、最初の当該職就任年月日

(2) 委員会の活動状況

①教育委員会会議

・平成20年度教育委員会付議事件

開催番号	開催日	定例 臨時	付議案 番号	付議事件
平成20年 第4回	4月23日	定例	第9号	臨時に代理した事件の承認について (大野城市立小中学校管理規則の一部を改正する規則 の制定について)
			第10号	臨時に代理した事件の承認について (大野城市立学校処務規程の一部を改正する規程の制 定について)
			第11号	大野城市社会体育施設の設置及び管理に関する条例 施行規則及び大野総合公園の管理に関する条例施行 規則の一部を改正する規則の制定について
第5回	5月22日	定例	—	
第6回	6月24日	臨時	第12号	教育委員長の選挙について
			第13号	教育委員長職務代理者の指定について
第7回	6月26日	定例	第14号	臨時に代理した事件の承認について (大野城市スポーツ振興審議会委員の委嘱について)
			第15号	大野城市立学校の通学区域に関する規則の一部を改 正する規則の制定について
			第16号	大野城市社会教育委員の委嘱について
第8回	7月22日	定例	第17号	平成21年度使用小学校用教科用図書の採択について
			第18号	大野城市道徳教育推進協議会委員の委嘱について
第9回	8月22日	定例	第19号	大野城市視聴覚センターの設置及び管理に関する規 則の一部を改正する規則の制定について
第10回	9月24日	定例	—	
第11回	10月1日	臨時	第20号	教育委員長職務代理者の指定について
第12回	10月21日	定例	—	
第13回	11月26日	定例	第21号	大野城市立小中学校管理規則の一部を改正する規則 の制定について
第14回	12月19日	定例	—	
平成21年 第1回	1月23日	定例	第1号	大野城市奨学資金条例の一部を改正する条例の制定 について

開催番号	開催日	定例臨時	付議案番号	付議事件
第2回	2月24日	定例	第2号	教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則の制定について
			第3号	大野城市立学校施設使用規則の一部を改正する規則の制定について
			第4号	大野城市社会体育施設の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について
			第5号	障害の用語の整理に伴う関係規則の整理に関する規則の制定について
			第6号	平成21年度教育施策要綱の策定について
			第7号	平成21年度教育予算(案)について
			第8号	平成21年度学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について
			第9号	教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について
第3回	3月25日	定例	第5号	障害の用語の整理に伴う関係規則の整理に関する規則の制定について(継続審議分)
			第6号	平成21年度教育施策要綱の策定について(継続審議分)
			第10号	大野城市教育委員会事務局の組織及び職の設置に関する規則及び大野城市教育委員会公印管守規則の一部を改正する規則の制定について
			第11号	大野城市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する規程の制定について
			第12号	大野城市芸術文化振興審議会設置条例施行規則の改正について
			第13号	大野城市少年相談員に関する規則を廃止する規則の制定について
			第14号	大野城市立学校児童生徒医療援助規則の一部を改正する規則の制定について
			第15号	大野城市立学校の事務の共同実施に関する規程の制定について
			第16号	大野城市立小中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について
			第17号	小学校・中学校管理職の人事について
			第18号	教育委員会事務局職員の人事について
第19号	平成21年度学校医の変更について			

以上の付議事項は全て可決承認されました。

・報告等事項

教育委員会会議において、付議事項の他に教育長及び委員会事務局からの47件の報告事項がありました。

②その他の活動

- ・学校訪問 市内の全小中学校15校を訪問しました。
- ・行事参加 学校における入学式・卒業式、運動会・体育会、また、教職員赴任式、まどかリンピック開会式、まどかれくスポ祭、成人式等に出席しました。
- ・研修等 筑紫地区教育委員研修会等への参加、先進地の視察を行いました。
- ・懇談会 市議会文教水道委員会との懇談会において、教育行政に関する意見交換等を行いました。

③広報活動

教育委員会会議をはじめ、事務事業における活動状況、お知らせや案内等の情報をホームページに掲載しました。また、平成20年度の主要施策を紹介したパンフレット「大野城市の教育」を学校や市主要施設で配布しました。

### 3. 事務事業の点検・評価

大野城市では、継続的に行っている事務事業について、内容の点検を行うフルコスト計算書及びこれらについての評価を行う事務事業診断書を作成し、これを基に経営の最適化を目指しています。3ヵ年度ですべての事務事業が評価され、毎年度一定の事務事業が対象として抽出されています。

平成21年度には平成20年度の事務事業を対象にした点検・評価を実施しており、本報告書ではこのうち教育委員会所管の事務事業について報告するもので、その内容は次のようになっています。

●フルコスト計算書

■事業概要（目的・対象・手段・成果）

■指標の評価（活動指標・成果指標）

■対象者及び受益者

■コスト評価

●事務事業診断書

■公募による市民委員、各種団体推薦の市民、民間コンサルタント等による「公共サービス改革委員会（フルコスト計算書診断部会）」による診断書

次ページ以降に事務事業ごとの上記計算書・診断書のシートを掲載しています。

教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況についての点検及び評価報告事業一覧  
 (フルコスト計算書作成年次計画表(平成21年度 教育委員会分))

番号	課名	年度	款・項・目	事業コード	フルコスト計算書を作成する事務事業	診断結果							掲載ページ	
						現状の事業運営で問題ない	市の判断だけで見直しできない	時代&市民ニーズと調整すべき	事業規模等を縮小すべき	事業コストを削減すべき	実施方法を改善すべき	他事業と統合すべき		廃止の方向で検討すべき
1	教務課	21	10-1-1	123006-436	①教育委員会活動事業	○								6
2			10-1-2	124005-437	②教育委員会運営事業	○								8
3			10-1-2	124013-440	③奨学金制度運営事業					○				10
4			10-1-2	124023-457	④就学援助支給事務事業				○					12
5			10-2-1	128011-443	⑤小学校施設営繕事業	○								14
6			10-2-1	128011-445	⑥小学校施設修繕事業	○								16
7	学校教育課	21	10-1-2	124010-453	①外国語指導助手(ALT)設置事業						○		18	
8			10-1-2	124023-456	②適応指導教室設置運営事業							○	20	
9			10-1-2	124023-462	③指導主事配置事業							○	22	
10			10-1-2	124023-463	④スクールアドバイザー派遣事業							○	24	
11			10-1-3	125003-466	⑤就学時健康診断事業						○		26	
12	文化学習課	21	2-1-8	171003-119	①生涯学習まちづくり出前講座事業						○		28	
13			10-4-1	144017-508	②社会教育指導員(家庭教育担当)設置事業							○	30	
14			10-4-4	145004-517	③成人式開催事業						○		32	
15	スポーツ課	21	10-5-2	150011-553	①北市民プール運営管理事業			○					34	
16			10-5-2	150014-554	②テニスコート施設維持管理事業						○		36	
17	ふるさと文化財課	21	10-4-2	143006-527	①埋蔵文化財発掘調査事業(乙金第2)						○		38	
18			10-4-2	143011-536	②史跡対策委員会運営事業	○							40	
19			10-4-2	143011-537	③文化財保護審議会運営事業	○							42	
各事務事業の診断結果に対する所管課改善方針・改善状況												44		

公共サービス毎のフルコスト計算書

【平成20年度決算】

1. 事業名	教育委員会委員活動事業				
2. 所管課	教務課	3. No.	20-436	4. 事業開始年度	1956
				(終了予定年度)	-
5. 財務科目	一般会計	10 款	1 項	1 目	123006
6. 事業コード					

7. 事業概要

目的 (何のために)	教育機関を管理し、学校の組織編制、教育課程、教科書等の取扱及び教職員の身分取扱に関する事務を行い、並びに社会教育その他教育、学術及び文化に関する事務を管理、執行する。(地方自治法に定める教育委員会職務の遂行)
対象 (何・誰を対象に)	教育委員4名(教育長を除く)
手段 (どんな事業を実施して)	定例・臨時の教育委員会開催 関係協議会会議・研修、市内行事等参加
成果 (どのような成果を期待するか)	付議案件を審議し、報告を受け教育行政を適正に管理、執行する。 所管事務・事業の点検・評価を行う。

8. 指標の評価

	指標名(算式)	目標値	実績値	達成度	達成状況の分析及び達成状況に影響を与えた要因
活動指標①	委員会の開催	12	13	108.33	
活動指標②	委員会会議・行事への参加率	95	97	102.94	5人の委員参加の延べ回数により算出
成果指標①	委員会付議事件審議件数	25	31	124.00	
成果指標②	所管事務・事業の点検評価書の作成	1	1	100.00	

9. 対象者及び受益者

対象者	4人	受益者	4人	比率	100.00%
-----	----	-----	----	----	---------

10. コスト評価

対象者1人あたりのフルコスト	2,519,250	円/人
受益者1人あたりのフルコスト	2,519,250	円/人
市民1人あたりのフルコスト	106	円/人

11. 収入

単位:千円

収入の種類	収入金額	主な収入内訳(名称等)
市税などの一般財源	8,251	
一般財源を除く小計		
使用料、手数料		
国庫支出金		
県支出金		
分担金、負担金等		
その他		
合計(=支出合計)	8,251	

12. (1) 受益者負担金等不納欠損額 0円 (2) 受益者負担金等収納率 0.00%

13. 支出

単位:千円

節	節名称	細節	細節名称	支出金額	主な使途
1	報酬			1,961	
2	給料			2,660	
3	職員手当等			2,356	
4	共済費			848	
5	災害補償費				
6	恩給及び退職年金				
7	賃金				
8	報償費				
9	旅費			388	
10	交際費				
11	需用費計			7	
	需用費	1	消耗品費	7	
	需用費	2	印刷製本費		
	需用費	3	食糧費		
	需用費	4	燃料費		
	需用費	5	光熱水費		
	需用費	6	修繕料		
	需用費	7	賄材料費		
	需用費	8	医薬材料費		
	需用費		その他		
12	役務費				
13	委託料				
14	使用料及び賃借料				
15	工事請負費				
16	原材料費				
17	公有財産購入費				
18	備品購入費				
19	負担金補助金及び交付金			31	
20	扶助費				
21	貸付金				
22	補償、補填及び賠償金				
23	償還金利子及び割引料				
24	投資及び出資金				
25	積立金				
26	寄附金				
27	公課費				
28	繰出金				
	小計			8,251	
	現金を伴わない支出小計			1,826	
	・減価償却費(財産)			1,522	
	・減価償却費(備品)			304	
	・その他人件費				
	・その他				
	合計			10,077	

14. ヒアリング結果(公共サービス改革委員会が該当する項目に○印を記入)

A	現状の事業運営で問題ない	○	E	事業コストを削減すべき	
B	市の判断だけで見直しできない		F	実施方法等を改善すべき	
C	時代&市民ニーズと調整すべき		G	他事業と統合すべき	
D	事業規模等を縮小すべき		H	廃止の方向で検討すべき	

事務事業診断書（改善シート）

1. 事業名 **教育委員会委員活動事業**

2. 所管課 **教務課** 3. No. **20-436**

4. 診断結果（※ 該当する項目に○印を記入し、所見を簡潔に記入ください。）

事業概要に対する診断

①目的

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

②対象

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

③手段

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

④成果

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

指標の評価に対する診断

委員会の開催

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

委員会会議・行事への参加率

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

委員会付議事件審議件数

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

所管事務・事業の点検評価書の作成

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

対象者及び受益者に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

コスト評価に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

収入状況に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

受益者負担金等不納欠損額及び収納率に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

支出状況に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

収支バランスに関する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

費用対効果からの診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

総合診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	◇ヒアリング結果（A～H）選択理由
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		【Aの「現状の事業運営で問題ない」を選択した理由】
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

改善時期診断

<input type="checkbox"/>	次年度当初予算に反映すべき	【Bの「市の判断だけで見直しできない」を選択した理由】
<input type="checkbox"/>	2年後の当初予算に反映	
<input type="checkbox"/>	3年後の当初予算に反映	
<input type="checkbox"/>	4年後の当初予算に反映	
<input type="checkbox"/>	改善時期は今後の課題	【Cの「時代&市民ニーズと調整すべき」を選択した理由】

《診断者の改善案等意見欄》

<input type="checkbox"/>	【Dの「事業規模等縮小すべき」を選択した理由】
<input type="checkbox"/>	【Eの「事業コストを削減すべき」を選択した理由】
<input type="checkbox"/>	【Fの「実施方法等を改善すべき」を選択した理由】
<input type="checkbox"/>	【Gの「他事業と統合すべき」を選択した理由】
<input type="checkbox"/>	【Hの「廃止の方向で検討すべき」を選択した理由】

公共サービス毎のフルコスト計算書

【平成20年度決算】

1. 事業名	教育委員会運営事業				
2. 所管課	教務課	3. No.	20-437	4. 事業開始年度	1956
				(終了予定年度)	-
5. 財務科目	一般会計	10 款	1 項	2 目	124005
6. 事業コード					

7. 事業概要

目的 (何のために)	教育基本法の目的・目標に向けて、教育行政の円滑化を図る。
対象 (何・誰を対象に)	教育委員会事務局職員（嘱託を含む）及び市立学校の教職員等
手段 (どんな事業を実施して)	教育委員会所管の事務事業について毎年度の指針となる主要施策の策定 委員会会議への重要事項の報告 事務・事業の広報
成果 (どのような成果を期待するか)	教育委員会所管事務の主要施策案作成。 市民の教育への関心を高める。

8. 指標の評価

	指標名 (算式)	目標値	実績値	達成度	達成状況の分析及び達成状況に影響を与えた要因
活動指標①	教育委員会主要施策の策定会議回数	2	2	100.00	
活動指標②	委員会会議への報告事項件数	50	58	116.00	
成果指標①	教育施策要綱策定	1	1	100.00	
成果指標②	市ホームページ（教育委員会トップ）へのアクセス件数	33,350	113,964	341.72	

9. 対象者及び受益者

対象者	605 人	受益者	605 人	比率	100.00 %
-----	-------	-----	-------	----	----------

10. コスト評価

対象者1人あたりのフルコスト	29,958	円/人
受益者1人あたりのフルコスト	29,958	円/人
市民1人あたりのフルコスト	191	円/人

11. 収入

単位：千円

収入の種類	収入金額	主な収入内訳 (名称等)
市税などの一般財源	14,330	
一般財源を除く小計		
使用料、手数料		
国庫支出金		
県支出金		
分担金、負担金等		
その他		
合計 (=支出合計)	14,330	

12. (1) 受益者負担金等不納欠損額 0 円 (2) 受益者負担金等収納率 0.00 %

13. 支出

単位：千円

節	節名称	細節	細節名称	支出金額	主な使途
1	報酬				
2	給料			5,525	
3	職員手当等			4,895	
4	共済費			1,761	
5	災害補償費				
6	恩給及び退職年金				
7	賃金				
8	報償費				
9	旅費			141	
10	交際費				
11	需用費計			667	
	需用費	1	消耗品費	576	
	需用費	2	印刷製本費	91	
	需用費	3	食糧費		
	需用費	4	燃料費		
	需用費	5	光熱水費		
	需用費	6	修繕料		
	需用費	7	賄材料費		
	需用費	8	医薬材料費		
	需用費		その他		
12	役務費			120	
13	委託料			295	
14	使用料及び賃借料				
15	工事請負費				
16	原材料費				
17	公有財産購入費				
18	備品購入費				
19	負担金補助金及び交付金			926	
20	扶助費				
21	貸付金				
22	補償、補填及び賠償金				
23	償還金利子及び割引料				
24	投資及び出資金				
25	積立金				
26	寄附金				
27	公課費				
28	繰出金				
	小計			14,330	
	現金を伴わない支出小計			3,795	
	・減価償却費 (財産)			3,162	
	・減価償却費 (備品)			633	
	・その他人件費				
	・その他				
	合計			18,125	

14. ヒアリング結果 (公共サービス改革委員会が該当する項目に○印を記入)

A	現状の事業運営で問題ない	○	E	事業コストを削減すべき	
B	市の判断だけで見直しできない		F	実施方法を改善すべき	
C	時代&市民ニーズと調整すべき		G	他事業と統合すべき	
D	事業規模等を縮小すべき		H	廃止の方向で検討すべき	

事務事業診断書（改善シート）

1. 事業名 **教育委員会運営事業**

2. 所管課 **教務課** 3. No. **20-437**

4. 診断結果（※ 該当する項目に○印を記入し、所見を簡潔に記入ください。）

事業概要に対する診断

①目的

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>	

②対象

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>	

③手段

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>	

④成果

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>	

指標の評価に対する診断

教育委員会主要施策の策定会議回数

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>	

委員会会議への報告事項件数

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>	

教育施策要綱策定

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>	

市ホームページ（教育委員会トップ）へのアクセス件数

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>	

対象者及び受益者に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>	

コスト評価に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>	

収入状況に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>	

受益者負担金等不納欠損額及び収納率に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>	

支出状況に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>	

収支バランスに関する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>	

費用対効果からの診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>	

総合診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】◇ヒアリング結果（A～H）選択理由
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	【Aの「現状の事業運営で問題ない」を選択した理由】
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>	

改善時期診断

<input type="checkbox"/>	次年度当初予算に反映すべき	【Bの「市の判断だけで見直しできない」を選択した理由】
<input type="checkbox"/>	2年後の当初予算に反映	
<input type="checkbox"/>	3年後の当初予算に反映	
<input type="checkbox"/>	4年後の当初予算に反映	
<input type="checkbox"/>	改善時期は今後の課題	【Cの「時代&市民ニーズと調整すべき」を選択した理由】

《診断者の改善案等意見欄》

	【Dの「事業規模等縮小すべき」を選択した理由】
	【Eの「事業コストを削減すべき」を選択した理由】
	【Fの「実施方法等を改善すべき」を選択した理由】
	【Gの「他事業と統合すべき」を選択した理由】
	【Hの「廃止の方向で検討すべき」を選択した理由】

公共サービス毎のフルコスト計算書

【平成20年度決算】

1. 事業名 **奨学生資金制度運営事業**  
 2. 所管課 **教務課** 3. No. **20-440** 4. 事業開始年度 **1990**  
 (終了予定年度) **-**  
 5. 財務科目 **一般会計** **10** 款 **1** 項 **2** 目 6. 事業コード **124013**

7. 事業概要

目的 (何のために)	経済的理由により修学困難な者に対して、就学の道を開き、有用な人材を育成する。(市奨学資金条例)
対象 (何・誰を対象に)	経済的理由により修学困難で成績優秀な高等学校等生徒・大学生(1年以上市内に住所を有する者)
手段 (どんな事業を実施して)	奨学資金の給付
成果 (どのような成果を期待するか)	有用な人材を育成する。

8. 指標の評価

	指標名(算式)	目標値	実績値	達成度	達成状況の分析及び達成状況に影響を与えた要因
活動指標①	次年度奨学生の募集数	7	7	100.00	
活動指標②	次年度奨学生の応募者数	15	17	113.33	
成果指標①	次年度奨学生の内定者数	7	9	128.57	
成果指標②	奨学金給付者数	15	11	73.33	

9. 対象者及び受益者

対象者	7,239人	受益者	11人	比率	0.15%
-----	--------	-----	-----	----	-------

10. コスト評価

対象者1人あたりのフルコスト	1,155	円/人
受益者1人あたりのフルコスト	760,454	円/人
市民1人あたりのフルコスト	88	円/人

11. 収入

単位：千円

収入の種類	収入金額	主な収入内訳(名称等)
市税などの一般財源	3,615	
一般財源を除く小計	3,626	
使用料、手数料		
国庫支出金		
県支出金		
分担金、負担金等		
その他	3,626	寄付金1,000千円 基金繰入金1,770千円 基金運用利子856千円
合計(=支出合計)	7,241	

12. (1) 受益者負担金等不納欠損額 **0** 円 (2) 受益者負担金等収納率 **0.00** %

13. 支出

単位：千円

節	節名称	細節	細節名称	支出金額	主な使途
1	報酬			5	
2	給料			1,637	
3	職員手当等			1,450	
4	共済費			521	
5	災害補償費				
6	恩給及び退職年金				
7	賃金				
8	報償費				
9	旅費			2	
10	交際費				
11	需用費計				
	需用費	1	消耗品費		
	需用費	2	印刷製本費		
	需用費	3	食糧費		
	需用費	4	燃料費		
	需用費	5	光熱水費		
	需用費	6	修繕料		
	需用費	7	賄材料費		
	需用費	8	医薬材料費		
	需用費		その他		
12	役務費				
13	委託料				
14	使用料及び貸借料				
15	工事請負費				
16	原材料費				
17	公有財産購入費				
18	備品購入費				
19	負担金補助金及び交付金			1,770	
20	扶助費				
21	貸付金				
22	補償、補填及び賠償金				
23	償還金利子及び割引料				
24	投資及び出資金				
25	積立金			1,856	
26	寄附金				
27	公課費				
28	繰出金				
	小計			7,241	
	現金を伴わない支出小計			1,124	
	・減価償却費(財産)			937	
	・減価償却費(備品)			187	
	・その他人件費				
	・その他				
	合計			8,365	

14. ヒアリング結果(公共サービス改革委員会が該当する項目に○印を記入)

A	現状の事業運営で問題ない	E	事業コストを削減すべき	○
B	市の判断だけで見直しできない	F	実施方法を改善すべき	
C	時代&市民ニーズと調整すべき	G	他事業と統合すべき	
D	事業規模等を縮小すべき	H	廃止の方向で検討すべき	

事務事業診断書（改善シート）

1. 事業名 **奨学生資金制度運営事業**

2. 所管課 **教務課** 3. No. **20-440**

4. 診断結果（※ 該当する項目に○印を記入し、所見を簡潔に記入ください。）

事業概要に対する診断

①目的

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

②対象

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

③手段

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

④成果

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

指標の評価に対する診断

次年度奨学生の募集数

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

次年度奨学生の応募者数

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

次年度奨学生の内定者数

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

奨学金給付者数

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

対象者及び受益者に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

コスト評価に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

収入状況に対する診断

改善点は見られない	<input type="checkbox"/>	【所見】	・低金利の中、基金残高の減少に伴い、将来の奨学金の原資が危ぶまれてくることから、本事務事業の意義や基金による運用を積極的にPRし、新たな寄付が生まれるように促進することも重要。
改善点が若干見られる	<input type="radio"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

受益者負担金等不納欠損額及び収納率に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

支出状況に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

収支バランスに関する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

費用対効果からの診断

改善点は見られない	<input type="checkbox"/>	【所見】	・奨学金の給付額の2倍にあたる職員人件費がかかっており、費用対効果の改善が必要。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="radio"/>		

総合診断

改善点は見られない	<input type="checkbox"/>	【所見】	◇ヒアリング結果（A～H）選択理由
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="radio"/>		

改善時期診断

①②	次年度当初予算に反映すべき
	2年後の当初予算に反映
	3年後の当初予算に反映
	4年後の当初予算に反映
	改善時期は今後の課題

《診断者の改善案等意見欄》

①給付金額の2倍にあたる職員人件費の削減が不可欠である。事務の効率化による業務量の削減や嘱託職員・臨時職員の積極的な活用による人件費の削減を行う必要がある。  
②本事務の意義は高いが、財源が基金の運用・取り崩しによるもので、現状では35年～40年で基金が無くなる試算の制度となっている。今後は、基金の拡充が必要であり、本基金への新たな寄付が生まれるよう、市民や事業者に対して、一定程度の基金が増額されるまでの間、継続的に積極的なPRを行うことが重要である。

【Aの「現状の事業運営で問題ない」を選択した理由】

--

【Bの「市の判断だけで見直しできない」を選択した理由】

--

【Cの「時代&市民ニーズと調整すべき」を選択した理由】

--

【Dの「事業規模等縮小すべき」を選択した理由】

--

【Eの「事業コストを削減すべき」を選択した理由】

--

費用対効果が悪いので職員人件費の削減が必要。

【Fの「実施方法等を改善すべき」を選択した理由】

--

【Gの「他事業と統合すべき」を選択した理由】

--

【Hの「廃止の方向で検討すべき」を選択した理由】

--

公共サービス毎のフルコスト計算書

【平成20年度決算】

1. 事業名	就学援助費支給事務事業				
2. 所管課	学校教育課	3. No.	20-457	4. 事業開始年度	1980
				(終了予定年度)	-
5. 財務科目	一般会計	10 款	1 項	2 目	124023
6. 事業コード					

7. 事業概要

目的 (何のために)	経済的理由により就学が困難な児童生徒に対し援助を行う
対象 (何、誰を対象に)	大野城市に住所を有する要保護・準要保護児童の保護者、又は大野城市に教育事務の一部を委託している市町に住所を有する要保護・準要保護児童の保護者
手段 (どんな事業を実施して)	①申請後認定された保護者に対し、学校給食費・学用品費・修学旅行費等の費用の全部または一部を支給する。②認定された児童生徒が、学校の健康診断において学校病(う歯・寄生虫病等)と診断された場合、その治療にかかった費用の保護者負担分を支給する。
成果 (どのような成果を期待するか)	学用品費や修学旅行費と同等の援助を受けることができる。

8. 指標の評価

	指標名(算式)	目標値	実績値	達成度	達成状況の分析及び達成状況に影響を与えた要因
活動指標①	申請者数	1,600	1,641	102.56	児童・生徒数ベース
活動指標②	認定者数	1,575	1,575	100.00	児童・生徒数ベース
成果指標①	申請者数に対する認定者の割合	95	95	100.94	
成果指標②	就学援助に関する周知リーフレット配布数	9,305	9,305	100.00	

9. 対象者及び受益者

対象者	9,305人	受益者	1,575人	比率	16.92%
-----	--------	-----	--------	----	--------

10. コスト評価

対象者1人あたりのフルコスト	438	円/人
受益者1人あたりのフルコスト	2,590	円/人
市民1人あたりのフルコスト	43	円/人

11. 収入

単位：千円

収入の種類	収入金額	主な収入内訳(名称等)
市税などの一般財源	3,298	
一般財源を除く小計		
使用料、手数料		
国庫支出金		
県支出金		
分担金、負担金等		
その他		
合計(=支出合計)	3,298	

12. (1) 受益者負担金等不納欠損額 0 円 (2) 受益者負担金等収納率 0.00 %

13. 支出

単位：千円

節	節名称	細節	細節名称	支出金額	主な使途
1	報酬				
2	給料			1,227	
3	職員手当等			1,087	
4	共済費			391	
5	災害補償費				
6	恩給及び退職年金				
7	賃金			475	
8	報償費				
9	旅費				
10	交際費				
11	需用費計			37	
	需用費	1	消耗品費		
	需用費	2	印刷製本費	37	
	需用費	3	食糧費		
	需用費	4	燃料費		
	需用費	5	光熱水費		
	需用費	6	修繕料		
	需用費	7	賄材料費		
	需用費	8	医薬材料費		
	需用費		その他		
12	役務費			81	
13	委託料				
14	使用料及び賃借料				
15	工事請負費				
16	原材料費				
17	公有財産購入費				
18	備品購入費				
19	負担金補助金及び交付金				
20	扶助費				
21	貸付金				
22	補償、補填及び賠償金				
23	償還金利子及び割引料				
24	投資及び出資金				
25	積立金				
26	寄附金				
27	公課費				
28	繰出金				
	小計			3,298	
	現金を伴わない支出小計			782	
	・減価償却費(財産)			652	
	・減価償却費(備品)			130	
	・その他人件費				
	・その他				
	合計			4,080	

14. ヒアリング結果(公共サービス改革委員会が該当する項目に○印を記入)

A	現状の事業運営で問題ない		E	事業コストを削減すべき	
B	市の判断だけで見直しできない		F	実施方法を改善すべき	
C	時代&市民ニーズと調整すべき		G	他事業と統合すべき	
D	事業規模等を縮小すべき	○	H	廃止の方向で検討すべき	

事務事業診断書（改善シート）

1. 事業名 **就学援助費支給事務事業**

2. 所管課 **学校教育課** 3. No. **20-457**

4. 診断結果（※ 該当する項目に○印を記入し、所見を簡潔に記入ください。）

事業概要に対する診断

①目的

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

②対象

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

③手段

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

④成果

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

指標の評価に対する診断

申請者数

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

認定者数

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

申請者数に対する認定者の割合

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

就学援助に関する周知リーフレット配布数

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

対象者及び受益者に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・対象者に対して受益者の占める割合が16.9%と非常に高い。「経済的理由により就学が困難な児童生徒」がこれほどの割合で本当に存在しているのか検証が必要。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

コスト評価に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

収入状況に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

受益者負担金等不納欠損額及び収納率に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

支出状況に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

収支バランスに関する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

費用対効果からの診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

総合診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	◇ヒアリング結果（A～H）選択理由
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		【Aの「現状の事業運営で問題ない」を選択した理由】
大いに改善すべき	<input type="radio"/>		

改善時期診断

①	次年度当初予算に反映すべき
②	2年後の当初予算に反映
	3年後の当初予算に反映
	4年後の当初予算に反映
	改善時期は今後の課題

《診断者の改善案等意見欄》

①対象者に占める受益者の割合が非常に大きく、児童生徒6人に1人が支給対象となっている。本事業の目的が「経済的理由により就学が困難な児童生徒に対し援助を行う」とあるが、本当に16.9%の児童生徒が経済的理由により就学が困難な状況の中身の検証が必要である。ばらまきに該当する部分がある可能性が高い。具体的には、市単費による上乗せ分である「準要保護認定基準」について、筑紫地区の他の自治体で同様の基準による支給があるのか、その場合の認定基準はどの様に差異があるのか、対象者に占める受益者の割合はどの程度なのかを調査し、分析する。  
②①の調査・分析の結果、本市の「準要保護認定基準」が筑紫地区の他団体よりを上回るサービスマであれば、同基準の廃止が望ましい。廃止により生じる財源は、学校教育のために必要で重要な事務事業のために利用することが望ましい。

【Aの「現状の事業運営で問題ない」を選択した理由】

【Bの「市の判断だけで見直しできない」を選択した理由】

【Cの「時代&市民ニーズと調整すべき」を選択した理由】

【Dの「事業規模等縮小すべき」を選択した理由】

対象者に占める受益者の割合が大きすぎる様に見えることから、要件の検証が必要。

【Eの「事業コストを削減すべき」を選択した理由】

【Fの「実施方法等を改善すべき」を選択した理由】

【Gの「他事業と統合すべき」を選択した理由】

【Hの「廃止の方向で検討すべき」を選択した理由】

公共サービス毎のフルコスト計算書

【平成20年度決算】

1. 事業名	小学校施設営繕事業					
2. 所管課	教務課	3. No.	20-443	4. 事業開始年度	-	
				(終了予定年度)	-	
5. 財務科目	一般会計	10 款	2 項	1 目	6. 事業コード	128011

7. 事業概要

目的 (何のために)	小学校施設環境の維持・整備
対象 (何・誰を対象に)	平成20年度小学校児童 (6,246人)
手段 (どんな事業を実施して)	前年度末に各校から提出される営繕要望書より優先性・緊急性・予算等を総合的に考慮した上、営繕工事を実施する。 ※補足説明 営繕：新築工事・増改築工事・模様替え・修繕工事の総称。
成果 (どのような成果を期待するか)	学校施設環境の改善

8. 指標の評価

	指標名 (算式)	目標値	実績値	達成度	達成状況の分析及び達成状況に影響を与えた要因
活動指標①	営繕工事に対応している学校	10	10	100.00	市内公立小学校全校において営繕工事に対応している。
活動指標②					
成果指標①	営繕工事対応件数	12	8	66.66	緊急な対応を要する突発的な営繕工事が発生したため、当初計画において優先度の低い案件を保留としている。
成果指標②					

9. 対象者及び受益者

対象者	6,246人	受益者	6,246人	比率	100.00%
-----	--------	-----	--------	----	---------

10. コスト評価

対象者1人あたりのフルコスト	3,556	円/人
受益者1人あたりのフルコスト	3,556	円/人
市民1人あたりのフルコスト	234	円/人

11. 収入

単位：千円

収入の種類	収入金額	主な収入内訳 (名称等)
市税などの一般財源	21,597	
一般財源を除く小計		
使用料、手数料		
国庫支出金		
県支出金		
分担金、負担金等		
その他		
合計 (=支出合計)	21,597	

12. (1) 受益者負担金等不納欠損額 0 円 (2) 受益者負担金等収納率 0.00 %

13. 支出

単位：千円

節	節名称	細節	細節名称	支出金額	主な使途
1	報酬				
2	給料			1,023	
3	職員手当等			906	
4	共済費			326	
5	災害補償費				
6	恩給及び退職年金				
7	賃金				
8	報償費				
9	旅費				
10	交際費				
11	需用費計				
	需用費	1	消耗品費		
	需用費	2	印刷製本費		
	需用費	3	食糧費		
	需用費	4	燃料費		
	需用費	5	光熱水費		
	需用費	6	修繕料		
	需用費	7	賄材料費		
	需用費	8	医薬材料費		
	需用費		その他		
12	役務費				
13	委託料			458	
14	使用料及び賃借料				
15	工事請負費			18,884	
16	原材料費				
17	公有財産購入費				
18	備品購入費				
19	負担金補助金及び交付金				
20	扶助費				
21	貸付金				
22	補償、補填及び賠償金				
23	償還金利子及び割引料				
24	投資及び出資金				
25	積立金				
26	寄附金				
27	公課費				
28	繰出金				
	小計			21,597	
	現金を伴わない支出小計			614	
	・減価償却費 (財産)			512	
	・減価償却費 (備品)			102	
	・その他人件費				
	・その他				
	合計			22,211	

14. ヒアリング結果 (公共サービス改革委員会が該当する項目に○印を記入)

A	現状の事業運営で問題ない	○	E	事業コストを削減すべき	
B	市の判断だけで見直しできない		F	実施方法等を改善すべき	
C	時代&市民ニーズと調整すべき		G	他事業と統合すべき	
D	事業規模等を縮小すべき		H	廃止の方向で検討すべき	

事務事業診断書（改善シート）

1. 事業名 小学校施設整備事業

2. 所管課 教務課 3. No. 20-443

4. 診断結果（※ 該当する項目に○印を記入し、所見を簡潔に記入ください。）

事業概要に対する診断

①目的

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

②対象

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

③手段

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

④成果

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

指標の評価に対する診断

営繕工事に対応している学校

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

改善点は見られない	<input type="checkbox"/>	【所見】	
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

営繕工事対応件数

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

改善点は見られない	<input type="checkbox"/>	【所見】	
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

対象者及び受益者に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

コスト評価に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

収入状況に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

受益者負担金等不納欠損額及び収納率に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

支出状況に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

収支バランスに関する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

費用対効果からの診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

総合診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	◇ヒアリング結果（A～H）選択理由
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		【Aの「現状の事業運営で問題ない」を選択した理由】
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

改善時期診断

<input type="checkbox"/>	次年度当初予算に反映すべき	【Bの「市の判断だけで見直しできない」を選択した理由】
<input type="checkbox"/>	2年後の当初予算に反映	
<input type="checkbox"/>	3年後の当初予算に反映	
<input type="checkbox"/>	4年後の当初予算に反映	
<input type="checkbox"/>	改善時期は今後の課題	

《診断者の改善案等意見欄》

【Aの「現状の事業運営で問題ない」を選択した理由】

【Bの「市の判断だけで見直しできない」を選択した理由】

【Cの「時代&市民ニーズと調整すべき」を選択した理由】

【Dの「事業規模等縮小すべき」を選択した理由】

【Eの「事業コストを削減すべき」を選択した理由】

【Fの「実施方法等を改善すべき」を選択した理由】

【Gの「他事業と統合すべき」を選択した理由】

【Hの「廃止の方向で検討すべき」を選択した理由】

公共サービス毎のフルコスト計算書

【平成20年度決算】

1. 事業名 **小学校施設修繕事業**  
 2. 所管課 **教務課** 3. No. **20-445** 4. 事業開始年度 **\*1890**  
 5. 財務科目 **一般会計** **10** 款 **2** 項 **1** 目 6. 事業コード **128011**

7. 事業概要

目的 (何のために)	小学校施設環境の維持・整備
対象 (何・誰を対象に)	平成20年度小学校児童 (6,246人)
手段 (どんな事業を実施して)	学校からの連絡ごとに学校施設不良箇所の修理 <small>※補足説明                  修繕：劣化や損傷した部材・部品等の機能を原形に回復すること。「修理」「補修」ともいう。</small>
成果 (どのような成果を期待するか)	低下した施設環境の回復、あるいは施設環境低下の予防

8. 指標の評価

	指標名 (算式)	目標値	実績値	達成度	達成状況の分析及び達成状況に影響を与えた要因
活動指標①	修繕に対応している学校数	10	10	100.00	市内小学校全校の修繕に対応している。
活動指標②					
成果指標①	修繕対応件数	246	246	100.00	学校から依頼があり、必要と認められた修繕においては、全て対応している。
成果指標②					

9. 対象者及び受益者

対象者	6,246人	受益者	6,246人	比率	100.00%
-----	--------	-----	--------	----	---------

10. コスト評価

対象者1人あたりのフルコスト	2,996	円/人
受益者1人あたりのフルコスト	2,996	円/人
市民1人あたりのフルコスト	197	円/人

11. 収入

単位：千円

収入の種類	収入金額	主な収入内訳 (名称等)
市税などの一般財源	17,734	
一般財源を除く小計		
使用料、手数料		
国庫支出金		
県支出金		
分担金、負担金等		
その他		
合計 (=支出合計)	17,734	

12. (1) 受益者負担金等不納欠損額 **0** 円 (2) 受益者負担金等収納率 **0.00** %

13. 支出

単位：千円

節	節名称	細節	細節名称	支出金額	主な使途
1	報酬				
2	給料			1,432	
3	職員手当等			1,269	
4	共済費			456	
5	災害補償費				
6	恩給及び退職年金				
7	賃金				
8	報償費				
9	旅費				
10	交際費				
11	需用費計			14,577	
	需用費	1	消耗品費	22	
	需用費	2	印刷製本費		
	需用費	3	食糧費		
	需用費	4	燃料費		
	需用費	5	光熱水費		
	需用費	6	修繕料	14,555	
	需用費	7	賄材料費		
	需用費	8	医薬材料費		
	需用費		その他		
12	役務費				
13	委託料				
14	使用料及び賃借料				
15	工事請負費				
16	原材料費				
17	公有財産購入費				
18	備品購入費				
19	負担金補助金及び交付金				
20	扶助費				
21	貸付金				
22	補償、補填及び賠償金				
23	償還金利子及び割引料				
24	投資及び出資金				
25	積立金				
26	寄附金				
27	公課費				
28	繰出金				
	小計			17,734	
	現金を伴わない支出小計			983	
	・減価償却費 (財産)			819	
	・減価償却費 (備品)			164	
	・その他人件費				
	・その他				
	合計			18,717	

14. ヒアリング結果 (公共サービス改革委員会が該当する項目に○印を記入)

A	現状の事業運営で問題ない	○	E	事業コストを削減すべき	
B	市の判断だけで見直しできない		F	実施方法を改善すべき	
C	時代&市民ニーズと調整すべき		G	他事業と統合すべき	
D	事業規模等を縮小すべき		H	廃止の方向で検討すべき	

事務事業診断書（改善シート）

1. 事業名

2. 所管課  3. No.

4. 診断結果（※ 該当する項目に○印を記入し、所見を簡潔に記入ください。）

事業概要に対する診断

①目的

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>	

②対象

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>	

③手段

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>	

④成果

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>	

指標の評価に対する診断

修繕に対応している学校数

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>	

改善点は見られない	<input type="checkbox"/>	【所見】
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>	

修繕対応件数

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>	

改善点は見られない	<input type="checkbox"/>	【所見】
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>	

対象者及び受益者に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>	

コスト評価に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>	

収入状況に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>	

受益者負担金等不納欠損額及び収納率に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>	

支出状況に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>	

収支バランスに関する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>	

費用対効果からの診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>	

総合診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】◇ヒアリング結果（A～H）選択理由
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>	

改善時期診断

<input type="checkbox"/>	次年度当初予算に反映すべき	【Bの「市の判断だけで見直しできない」を選択した理由】
<input type="checkbox"/>	2年後の当初予算に反映	
<input type="checkbox"/>	3年後の当初予算に反映	
<input type="checkbox"/>	4年後の当初予算に反映	
<input type="checkbox"/>	改善時期は今後の課題	

《診断者の改善案等意見欄》

【Aの「現状の事業運営で問題ない」を選択した理由】

【Cの「時代&市民ニーズと調整すべき」を選択した理由】

【Dの「事業規模等縮小すべき」を選択した理由】

【Eの「事業コストを削減すべき」を選択した理由】

【Fの「実施方法等を改善すべき」を選択した理由】

【Gの「他事業と統合すべき」を選択した理由】

【Hの「廃止の方向で検討すべき」を選択した理由】

【Hの「廃止の方向で検討すべき」を選択した理由】

公共サービス毎のフルコスト計算書

【平成20年度決算】

1. 事業名	外国語指導助手（ALT）設置事業				
2. 所管課	学校教育課	3. No.	20-453	4. 事業開始年度	*1992
				(終了予定年度)	-
5. 財務科目	一般会計	10 款	1 項	2 目	124010
6. 事業コード					

7. 事業概要

目的 (何のために)	英語教育と国際理解教育の充実
対象 (何・誰を対象に)	市内中学校全生徒
手段 (どんな事業を実施して)	市内中学校5校に3名のALTを配置し、計画に従い英語の授業補助を行う
成果 (どのような成果を期待するか)	英語理解力の向上と国際理解への関心意欲の向上

8. 指標の評価

	指標名(算式)	目標値	実績値	達成度	達成状況の分析及び達成状況に影響を与えた要因
活動指標①	ALTの配置人数	3	3	100.00	生徒1,000人あたりALT1名を配置。
活動指標②	授業補助時間数	1,380	1,262	91.44	全クラス数(92クラス)×15時程度。授業計画に基づき授業補助を行った。
成果指標①	英語の学力検査結果(H21実施)	100	103	103.00	全国平均値を100として分析。英語を母国語とする講師による英語授業の補助により、理解力の向上へつながった。
成果指標②	英語コミュニケーションへの関心・意欲(H21検査実施)	100	102	102.00	全国平均値を100として分析。授業時間外も含めた交流等により、国際関心が深まり積極的なコミュニケーションが図られた。

9. 対象者及び受益者

対象者	3,059人	受益者	3,059人	比率	100.00%
-----	--------	-----	--------	----	---------

10. コスト評価

対象者1人あたりのフルコスト	3,411	円/人
受益者1人あたりのフルコスト	3,411	円/人
市民1人あたりのフルコスト	110	円/人

11. 収入

単位：千円

収入の種類	収入金額	主な収入内訳(名称等)
市税などの一般財源	540	
一般財源を除く小計	9,775	
使用料、手数料		
国庫支出金		
県支出金		
分担金、負担金等		
その他	9,775	国際交流基金
合計(=支出合計)	10,315	

12. (1) 受益者負担金等不納欠損額 0円 (2) 受益者負担金等収納率 0.00%

13. 支出

単位：千円

節	節名称	細節	細節名称	支出金額	主な使途
1	報酬				
2	給料			245	
3	職員手当等			217	
4	共済費			78	
5	災害補償費				
6	恩給及び退職年金				
7	賃金				
8	報償費				
9	旅費				
10	交際費				
11	需用費計				
	需用費	1	消耗品費		
	需用費	2	印刷製本費		
	需用費	3	食糧費		
	需用費	4	燃料費		
	需用費	5	光熱水費		
	需用費	6	修繕料		
	需用費	7	賄材料費		
	需用費	8	医薬材料費		
	需用費		その他		
12	役務費				
13	委託料			9,775	
14	使用料及び賃借料				
15	工事請負費				
16	原材料費				
17	公有財産購入費				
18	備品購入費				
19	負担金補助金及び交付金				
20	扶助費				
21	貸付金				
22	補償、補填及び賠償金				
23	償還金利子及び割引料				
24	投資及び出資金				
25	積立金				
26	寄附金				
27	公課費				
28	繰出金				
	小計			10,315	
	現金を伴わない支出小計			122	
	・減価償却費(財産)			102	
	・減価償却費(備品)			20	
	・その他人件費				
	・その他				
	合計			10,437	

14. ヒアリング結果(公共サービス改革委員会が該当する項目に○印を記入)

A	現状の事業運営で問題ない	E	事業コストを削減すべき	
B	市の判断だけで見直しできない	F	実施方法を改善すべき	○
C	時代&市民ニーズと調整すべき	G	他事業と統合すべき	
D	事業規模等を縮小すべき	H	廃止の方向で検討すべき	

事務事業診断書（改善シート）

1. 事業名 **外国語指導助手（ALT）設置事業**

2. 所管課 **学校教育課** 3. No. **20-453**

4. 診断結果（※ 該当する項目に○印を記入し、所見を簡潔に記入ください。）

事業概要に対する診断

①目的

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

②対象

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

③手段

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

④成果

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

指標の評価に対する診断

ALTの配置人数

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

授業補助時間数

改善点は見られない	<input type="checkbox"/>	【所見】	・達成度が91.4%に留まっており、せつかくの外国語指導助手を有効活用しきれていない状況にある。
改善点が若干見られる	<input type="radio"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

英語の学力検査結果（H21実施）

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

英語コミュニケーションへの関心・意欲（H21検査実施）

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

対象者及び受益者に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

コスト評価に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

収入状況に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

受益者負担金等不納欠損額及び収納率に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

支出状況に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

収支バランスに関する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

費用対効果からの診断

改善点は見られない	<input type="checkbox"/>	【所見】	・授業補助時間数の達成度が91.4%に留まっており、ALTが有効活用しきれていない。
改善点が若干見られる	<input type="radio"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

総合診断

改善点は見られない	<input type="checkbox"/>	【所見】	◇ヒアリング結果（A～H）選択理由
改善点が若干見られる	<input type="radio"/>		【Aの「現状の事業運営で問題ない」を選択した理由】
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

改善時期診断

①	次年度当初予算に反映すべき
	2年後の当初予算に反映
	3年後の当初予算に反映
	4年後の当初予算に反映
	改善時期は今後の課題

《診断者の改善案等意見欄》

①ALTの有効活用を促進するために、各学校でどのようにALTを活用して英語学習が行われているか把握するための研究授業や、ALTの活動の成果と課題を聞く研修会などを開き、情報の共有と成功・優良事例の普及が必要。また、放課後のクラブ活動を中心にALT独自の取り組みを拡充することも有用である。

【Aの「現状の事業運営で問題ない」を選択した理由】

【Bの「市の判断だけで見直しできない」を選択した理由】

【Cの「時代&市民ニーズと調整すべき」を選択した理由】

【Dの「事業規模等縮小すべき」を選択した理由】

【Eの「事業コストを削減すべき」を選択した理由】

【Fの「実施方法等を改善すべき」を選択した理由】

ALTの有効活用を促進する取り組みが必要。

【Gの「他事業と統合すべき」を選択した理由】

【Hの「廃止の方向で検討すべき」を選択した理由】

公共サービス毎のフルコスト計算書

【平成20年度決算】

1. 事業名 **適応指導教室設置運営事業**  
 2. 所管課 **学校教育課** 3. No. **20-456** 4. 事業開始年度 **1997**  
 (終了予定年度) **-**  
 5. 財務科目 **一般会計** **10** 款 **1** 項 **2** 目 6. 事業コード **124023**

7. 事業概要

目的 (何のために)	精神的な不安や悩み、いじめ、家族関係等から不登校になった児童生徒の学校復帰を図る。
対象 (何・誰を対象に)	不登校児童生徒
手段 (どんな事業を実施して)	自主学習、体験活動、チャレンジ登校
成果 (どのような成果を期待するか)	不登校児童生徒の自立心と協調性を育み成長していく過程に学校復帰を捉えている。

8. 指標の評価

	指標名(算式)	目標値	実績値	達成度	達成状況の分析及び達成状況に影響を与えた要因
活動指標①	体験活動実施回数	53	53	100.00	学校との連携やヤングアドバイザーによる活動のサポート等により充実を図った。
活動指標②	チャレンジ登校実施回数	9	9	100.00	月に1回(北コミュニティセンター休館日に)実施した。
成果指標①	体験活動参加率	70	68	98.17	体験活動を通して社会的自立を促し、集団生活に適応する力を育んだ。
成果指標②	チャレンジ登校参加率	40	41	103.70	チャレンジ登校の実施により学校との距離が縮まり学校復帰に繋がった。

9. 対象者及び受益者

対象者	131人	受益者	16人	比率	12.21%
-----	------	-----	-----	----	--------

10. コスト評価

対象者1人あたりのフルコスト	13,099	円/人
受益者1人あたりのフルコスト	107,250	円/人
市民1人あたりのフルコスト	18	円/人

11. 収入

単位：千円

収入の種類	収入金額	主な収入内訳(名称等)
市税などの一般財源	1,422	
一般財源を除く小計		
使用料、手数料		
国庫支出金		
県支出金		
分担金、負担金等		
その他		
合計(=支出合計)	1,422	

12. (1) 受益者負担金等不納欠損額 **0** 円 (2) 受益者負担金等収納率 **0.00** %

13. 支出

単位：千円

節	節名称	細節	細節名称	支出金額	主な使途
1	報酬				
2	給料			491	
3	職員手当等			435	
4	共済費			156	
5	災害補償費				
6	恩給及び退職年金				
7	賃金				
8	報償費			72	適応指導教室謝金(29回分)
9	旅費			1	適応指導教室県内普通旅費(2回分)
10	交際費				
11	需用費計			170	
	需用費	1	消耗品費	165	調理実習用消耗品 他
	需用費	2	印刷製本費		
	需用費	3	食糧費		
	需用費	4	燃料費		
	需用費	5	光熱水費		
	需用費	6	修繕料	5	適応指導教室プリンター修繕費
	需用費	7	賄材料費		
	需用費	8	医薬材料費		
	需用費		その他		
12	役員費			66	適応指導教室電話代
13	委託料				
14	使用料及び賃借料			26	体験活動時施設使用料
15	工事請負費				
16	原材料費				
17	公有財産購入費				
18	備品購入費				
19	負担金補助金及び交付金			5	全国適応指導教室連絡協議会会費
20	扶助費				
21	貸付金				
22	補償、補填及び賠償金				
23	償還金利子及び割引料				
24	投資及び出資金				
25	積立金				
26	寄附金				
27	公課費				
28	繰出金				
	小計			1,422	
	現金を伴わない支出小計			294	
	・減価償却費(財産)			245	
	・減価償却費(備品)			49	
	・その他人件費				
	・その他				
	合計			1,716	

14. ヒアリング結果(公共サービス改革委員会が該当する項目に○印を記入)

A	現状の事業運営で問題ない		E	事業コストを削減すべき	
B	市の判断だけで見直しできない		F	実施方法を改善すべき	
C	時代&市民ニーズと調整すべき		G	他事業と統合すべき	○
D	事業規模等を縮小すべき		H	廃止の方向で検討すべき	

事務事業診断書（改善シート）

1. 事業名 **適応指導教室設置運営事業**

2. 所管課 **学校教育課** 3. No. **20-456**

4. 診断結果（※ 該当する項目に○印を記入し、所見を簡潔に記入ください。）

事業概要に対する診断

①目的

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる			
大いに改善すべき			

②対象

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる			
大いに改善すべき			

③手段

改善点は見られない		【所見】	・ヤングアドバイザーは、専門的知識がある方が有効であることから、教員を目指している人などが専任されるようにした方がよい。
改善点が若干見られる	<input type="radio"/>		
大いに改善すべき			

④成果

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる			
大いに改善すべき			

指標の評価に対する診断

体験活動実施回数

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる			
大いに改善すべき			

チャレンジ登校実施回数

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる			
大いに改善すべき			

体験活動参加率

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる			
大いに改善すべき			

チャレンジ登校参加率

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる			
大いに改善すべき			

対象者及び受益者に対する診断

改善点は見られない		【所見】	・対象者に対する受益者の占める割合が12.2%に留まっており、不登校児童生徒をいかに適応指導教室に来てもらえるようになるのかが大きな課題である。
改善点が若干見られる	<input type="radio"/>		
大いに改善すべき			

コスト評価に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる			
大いに改善すべき			

収入状況に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる			
大いに改善すべき			

受益者負担金等不納欠損額及び収納率に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる			
大いに改善すべき			

支出状況に対する診断

改善点は見られない		【所見】	・適応指導教室の運営に不可欠な指導員の人件費が別の事業とされていることから、本事務事業について適切な診断ができない。
改善点が若干見られる			
大いに改善すべき	<input type="radio"/>		

収支バランスに関する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる			
大いに改善すべき			

費用対効果からの診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる			
大いに改善すべき			

総合診断

改善点は見られない		【所見】	◇ヒアリング結果（A～H）選択理由
改善点が若干見られる			【Aの「現状の事業運営で問題ない」を選択した理由】
大いに改善すべき	<input type="radio"/>		

改善時期診断

①②③	次年度当初予算に反映すべき
	2年後の当初予算に反映
	3年後の当初予算に反映
	4年後の当初予算に反映
	改善時期は今後の課題

《診断者の改善案等意見欄》

①不登校児童生徒に占める適応指導教室へ来る児童生徒の割合が12.2%に留まっている。本事業の成果を拡大させるためには、より多くの不登校児童生徒が適応指導教室に来ることが不可欠である。そのため、不登校児童生徒に対して、適応指導教室に来ていた児童生徒OBが直接的・間接的に体験談等を交えた適応指導教室の有用性を訴える機会を設けるなどの取り組みが必要である。  
②指導に当たるヤングアドバイザーの専任に当たっては、より専門知識を有し、類似活動経験のある人を専任できるように改善する。  
③本事務事業の診断において不可欠な指導員の配置に係るコストが他の事務事業の扱いになっているために、適切な診断ができない。教育委員会所管の事務事業には、本事務事業以外にも指導員等の配置とその指導員等が行っている事業が別々の事務事業となっている場合が見られるので、それらはすべて統合して1つの事務事業とする必要がある。

【Bの「市の判断だけで見直しできない」を選択した理由】

【Cの「時代&市民ニーズと調整すべき」を選択した理由】

【Dの「事業規模等縮小すべき」を選択した理由】

【Eの「事業コストを削減すべき」を選択した理由】

【Fの「実施方法等を改善すべき」を選択した理由】

【Gの「他事業と統合すべき」を選択した理由】

正しいフルコストに基づく診断を行うため、指導員を配置するための別事業を本事務事業と統合する必要がある。

【Hの「廃止の方向で検討すべき」を選択した理由】

公共サービス毎のフルコスト計算書

【平成20年度決算】

1. 事業名 **指導主事配置事業**  
 2. 所管課 **学校教育課** 3. No. **20-462** 4. 事業開始年度 **2006**  
 (終了予定年度) **-**  
 5. 財務科目 **一般会計** **10** 款 **1** 項 **2** 目 6. 事業コード **124023**

7. 事業概要

目的 (何のために)	不登校・問題行動等の生徒指導の早期対策、また、教師の指導力の向上や授業改善に向けた学校支援、指導の充実のため。
対象 (何・誰を対象に)	教職員(553人)、保護者(PTA:7,593人) ※受益者については、研修受講の教職員数(553人)、教育相談者数(737人)。
手段 (どんな事業を実施して)	生徒指導、教育相談、学校への支援・指導、教職員の各種研究会の実施。 (嘱託職員1名、県からの出向職員2名を併せて、3名の指導主事に対応。)
成果 (どのような成果を期待するか)	教職員の指導力向上、不登校・問題行動等の児童生徒の減少。

8. 指標の評価

	指標名(算式)	目標値	実績値	達成度	達成状況の分析及び達成状況に影響を与えた要因
活動指標①	教育相談の回答数(件)	737	737	100.00	相談案件全てに回答
活動指標②	教職員研修会の開催数(回)	14	14	100.00	研修会を計画的に全て実施
成果指標①	アンケートによる研修会有効の回答率(%)	100	100	100.00	学校や関連機関との連携による内容の充実、情報共有
成果指標②	学力テストの平均正答率の全国平均比(%)	100	101	101.63	学校における指導体制の協働・連携、指導資料(問題)の作成等

9. 対象者及び受益者

対象者	8,146人	受益者	1,290人	比率	15.83%
-----	--------	-----	--------	----	--------

10. コスト評価

対象者1人あたりのフルコスト	367	円/人
受益者1人あたりのフルコスト	2,322	円/人
市民1人あたりのフルコスト	31	円/人

11. 収入

単位：千円

収入の種類	収入金額	主な収入内訳(名称等)
市税などの一般財源	450	
一般財源を除く小計		
使用料、手数料		
国庫支出金		
県支出金		
分担金、負担金等		
その他		
合計(=支出合計)	450	

12. (1) 受益者負担金等不納欠損額 **0** 円 (2) 受益者負担金等収納率 **0.00** %

13. 支出

単位：千円

節	節名称	細節	細節名称	支出金額	主な使途
1	報酬				
2	給料			204	
3	職員手当等			181	
4	共済費			65	
5	災害補償費				
6	恩給及び退職年金				
7	賃金			2,424	嘱託職員賃金(1名)
8	報償費				
9	旅費				
10	交際費				
11	需用費計				
	需用費	1	消耗品費		
	需用費	2	印刷製本費		
	需用費	3	食糧費		
	需用費	4	燃料費		
	需用費	5	光熱水費		
	需用費	6	修繕料		
	需用費	7	賄材料費		
	需用費	8	医薬材料費		
	需用費		その他		
12	役務費				
13	委託料				
14	使用料及び賃借料				
15	工事請負費				
16	原材料費				
17	公有財産購入費				
18	備品購入費				
19	負担金補助金及び交付金				
20	扶助費				
21	貸付金				
22	補償、補填及び賠償金				
23	償還金利子及び割引料				
24	投資及び出資金				
25	積立金				
26	寄附金				
27	公課費				
28	繰出金				
	小計			2,874	
	現金を伴わない支出小計			122	
	・減価償却費(財産)			102	
	・減価償却費(備品)			20	
	・その他人件費				
	・その他				
	合計			2,996	

14. ヒアリング結果(公共サービス改革委員会が該当する項目に○印を記入)

A	現状の事業運営で問題ない		E	事業コストを削減すべき	
B	市の判断だけで見直しできない		F	実施方法を改善すべき	
C	時代&市民ニーズと調整すべき		G	他事業と統合すべき	○
D	事業規模等を縮小すべき		H	廃止の方向で検討すべき	

事務事業診断書（改善シート）

1. 事業名 **指導主事配置事業**

2. 所管課 **学校教育課** 3. No. **20-462**

4. 診断結果（※ 該当する項目に○印を記入し、所見を簡潔に記入ください。）

事業概要に対する診断

①目的

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

②対象

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

③手段

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

④成果

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

指標の評価に対する診断

教育相談の回答数（件）

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

教職員研修会の開催数（回）

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

アンケートによる研修会有効の回答率（％）

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

学力テストの平均正答率の全国平均比（％）

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

対象者及び受益者に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

コスト評価に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

収入状況に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

受益者負担金等不納欠損額及び収納率に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

支出状況に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

収支バランスに関する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

費用対効果からの診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

総合診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	◇ヒアリング結果（A～H）選択理由
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		【Aの「現状の事業運営で問題ない」を選択した理由】
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

改善時期診断

①	次年度当初予算に反映すべき
	2年後の当初予算に反映
	3年後の当初予算に反映
	4年後の当初予算に反映
	改善時期は今後の課題

《診断者の改善案等意見欄》

①本事務事業の診断において不可欠な指導主事の実際の活動の実施に係るコストやその成果が他の事務事業の扱いになっているために、適切な診断ができない。教育委員会所管の事務事業には、本事務事業以外にも指導員等の配置とその指導員等が行っている事業が別々の事務事業となっている場合が見られるので、それらはすべて統合して1つの事務事業とする必要がある。その上で、改めてフルコスト計算書診断を行う必要がある。

【Aの「現状の事業運営で問題ない」を選択した理由】

【Bの「市の判断だけで見直しできない」を選択した理由】

【Cの「時代&市民ニーズと調整すべき」を選択した理由】

【Dの「事業規模等縮小すべき」を選択した理由】

【Eの「事業コストを削減すべき」を選択した理由】

【Fの「実施方法等を改善すべき」を選択した理由】

【Gの「他事業と統合すべき」を選択した理由】

正しいフルコストに基づく診断を行うため、配置された指導主事が実際に行っている別事業と本事務事業と統合する必要がある。

【Hの「廃止の方向で検討すべき」を選択した理由】

公共サービス毎のフルコスト計算書

【平成20年度決算】

1. 事業名	スクールアドバイザー派遣事業				
2. 所管課	学校教育課	3. No.	20-463	4. 事業開始年度	1999
				(終了予定年度)	-
5. 財務科目	一般会計	10 款	1 項	2 目	124023
6. 事業コード					

7. 事業概要

目的 (何のために)	小中学校のいじめや不登校の児童生徒の問題の解決に向けて、臨床心理士等の専門家であるスクールアドバイザーを学校へ派遣し、相談活動ができるよう指導・助言を行い、問題解決を図る。
対象 (何・誰を対象に)	学校の教職員及びいじめ・不登校の児童生徒・保護者
手段 (どんな事業を実施して)	要望のあった各小中学校へスクールアドバイザーを派遣、教職員に対していじめや、不登校に対する早期発見予防法等の紹介。実際の不登校児童生徒の保護者や教職員への指導助言。
成果 (どのような成果を期待するか)	問題行動の児童生徒に対する教職員の立場による対応の共通理解、及び保護者に対するアドバイスによる取り組み方法の提供。

8. 指標の評価

	指標名(算式)	目標値	実績値	達成度	達成状況の分析及び達成状況に影響を与えた要因
活動指標①	研修・相談回数	20	11	55.00	打合せ及び準備時間 1時間30分 相談時間 1時間30分
活動指標②	実施件数	11	11	100.00	スクールアドバイザー実施回数
成果指標①	研修回数	11	3	27.27	学校教職員の問題解決のための研修を実施。
成果指標②	相談数	11	8	72.72	教職員・保護者・児童生徒の問題解決への糸口を作る。

9. 対象者及び受益者

対象者	9,769人	受益者	140人	比率	1.43%
-----	--------	-----	------	----	-------

10. コスト評価

対象者1人あたりのフルコスト	268	円/人
受益者1人あたりのフルコスト	18,764	円/人
市民1人あたりのフルコスト	27	円/人

11. 収入

単位：千円

収入の種類	収入金額	主な収入内訳(名称等)
市税などの一般財源	2,176	
一般財源を除く小計		
使用料、手数料		
国庫支出金		
県支出金		
分担金、負担金等		
その他		
合計(=支出合計)	2,176	

12. (1) 受益者負担金等不納欠損額 0 円 (2) 受益者負担金等収納率 100.00 %

13. 支出

単位：千円

節	節名称	細節	細節名称	支出金額	主な使途
1	報酬				
2	給料			900	
3	職員手当等			797	
4	共済費			287	
5	災害補償費				
6	恩給及び退職年金				
7	賃金				
8	報償費			192	
9	旅費				
10	交際費				
11	需用費計				
	需用費	1	消耗品費		
	需用費	2	印刷製本費		
	需用費	3	食糧費		
	需用費	4	燃料費		
	需用費	5	光熱水費		
	需用費	6	修繕料		
	需用費	7	賄材料費		
	需用費	8	医薬材料費		
	需用費		その他		
12	役務費				
13	委託料				
14	使用料及び賃借料				
15	工事請負費				
16	原材料費				
17	公有財産購入費				
18	備品購入費				
19	負担金補助金及び交付金				
20	扶助費				
21	貸付金				
22	補償、補填及び賠償金				
23	償還金利子及び割引料				
24	投資及び出資金				
25	積立金				
26	寄附金				
27	公課費				
28	繰出金				
	小計			2,176	
	現金を伴わない支出小計			451	
	・減価償却費(財産)			376	
	・減価償却費(備品)			75	
	・その他人件費				
	・その他				
	合計			2,627	

14. ヒアリング結果(公共サービス改革委員会が該当する項目に○印を記入)

A	現状の事業運営で問題ない		E	事業コストを削減すべき	
B	市の判断だけで見直しできない		F	実施方法等を改善すべき	
C	時代&市民ニーズと調整すべき		G	他事業と統合すべき	○
D	事業規模等を縮小すべき		H	廃止の方向で検討すべき	

事務事業診断書（改善シート）

1. 事業名

2. 所管課  3. No.

4. 診断結果（※ 該当する項目に○印を記入し、所見を簡潔に記入ください。）

事業概要に対する診断

①目的

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>	

②対象

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>	

③手段

改善点は見られない	<input type="checkbox"/>	【所見】・研修及び相談に対する指導・助言が、他の事務事業と重複しており、整理が必要である。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	
大いに改善すべき	<input type="radio"/>	

④成果

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>	

指標の評価に対する診断

研修・相談回数

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>	

実施件数

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>	

研修回数

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>	

相談数

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>	

対象者及び受益者に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>	

コスト評価に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>	

収入状況に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>	

受益者負担金等不納欠損額及び収納率に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>	

支出状況に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>	

収支バランスに関する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>	

費用対効果からの診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>	

総合診断

改善点は見られない	<input type="checkbox"/>	【所見】◇ヒアリング結果（A～H）選択理由
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	
大いに改善すべき	<input type="radio"/>	

改善時期診断

①	次年度当初予算に反映すべき	【Bの「市の判断だけで見直しできない」を選択した理由】
	2年後の当初予算に反映	
	3年後の当初予算に反映	
	4年後の当初予算に反映	
	改善時期は今後の課題	

《診断者の改善案等意見欄》

①スクールアドバイザーが派遣されて実施している主な2業務（研修・相談対応）は、教育委員会の他の事務事業でも行っているもので、事務事業間で重複が見られる。今後は、研修については、他の教職員等に対する研修事業に統合し、研修事業一体として効率化・有効化を図る必要がある。個別事案に対する相談対応については、他の事務事業で行っている類似業務を本事務事業に一本化する。その上で、本事務事業を拡充する必要があるのであれば、事前に決めた曜日時間帯には定期的にスクールアドバイザーが派遣されるなど、より充実した相談対応体制とすることも考えられる。

【Aの「現状の事業運営で問題ない」を選択した理由】

<input type="text"/>
----------------------

【Bの「市の判断だけで見直しできない」を選択した理由】

<input type="text"/>
----------------------

【Cの「時代&市民ニーズと調整すべき」を選択した理由】

<input type="text"/>
----------------------

【Dの「事業規模等縮小すべき」を選択した理由】

<input type="text"/>
----------------------

【Eの「事業コストを削減すべき」を選択した理由】

<input type="text"/>
----------------------

【Fの「実施方法等を改善すべき」を選択した理由】

<input type="text"/>
----------------------

【Gの「他事業と統合すべき」を選択した理由】

<input type="text"/>
----------------------

【Hの「廃止の方向で検討すべき」を選択した理由】

<input type="text"/>
----------------------

公共サービス毎のフルコスト計算書

【平成20年度決算】

1. 事業名	就学時健康診断事業				
2. 所管課	学校教育課	3. No.	20-466	4. 事業開始年度	*1958
				(終了予定年度)	-
5. 財務科目	一般会計	10 款	1 項	3 目	125003
6. 事業コード					

7. 事業概要

目的 (何のために)	就学前児童が小学校入学を健やかな状態で迎えることができるよう健康診断を実施し、その結果を保護者に通知する。 (根拠法令 学校保健安全法)
対象 (何・誰を対象に)	次年度小学1年生になる児童(984人)
手段 (どんな事業を実施して)	内科医による内科検診、歯科医による歯科検診、委員会・学校による適性検査、委員会による視力検査及び委員会・学校による教育相談の実施
成果 (どのような成果を期待するか)	児童の健やかな状態での小学校入学 就学指導の必要がある児童の把握 保護者の不安解消

8. 指標の評価

	指標名(算式)	目標値	実績値	達成度	達成状況の分析及び達成状況に影響を与えた要因
活動指標①	実施学校数	10	10	100.00	10月3日から31日に市内全小学校(10校)にて各1回実施した
活動指標②	参加内科医・歯科医数	30	30	100.00	内科医18人により内科検診、歯科医12人により歯科検診を実施した
成果指標①	健康診断受診率	99	98	99.46	通知ハガキ、市報及びホームページ等により保護者に対して周知した
成果指標②	教育相談件数	35	32	91.42	希望する保護者を対象に全校において校長及び指導主事により教育相談をした

9. 対象者及び受益者

対象者	984人	受益者	969人	比率	98.47%
-----	------	-----	------	----	--------

10. コスト評価

対象者1人あたりのフルコスト	1,642	円/人
受益者1人あたりのフルコスト	1,667	円/人
市民1人あたりのフルコスト	17	円/人

11. 収入

単位：千円

収入の種類	収入金額	主な収入内訳(名称等)
市税などの一般財源	1,415	
一般財源を除く小計		
使用料、手数料		
国庫支出金		
県支出金		
分担金、負担金等		
その他		
合計(=支出合計)	1,415	

12. (1) 受益者負担金等不納欠損額 0 円 (2) 受益者負担金等収納率 0.00 %

13. 支出

単位：千円

節	節名称	細節	細節名称	支出金額	主な使途
1	報酬			624	内科医・歯科医報酬(17,800円×30人)+看護師報酬(5,320円×17人)
2	給料			327	
3	職員手当等			290	
4	共済費			104	
5	災害補償費				
6	恩給及び退職年金				
7	賃金				
8	報償費				
9	旅費				
10	交際費				
11	需用費計			23	
	需用費	1	消耗品費		
	需用費	2	印刷製本費	23	通知ハガキ作成
	需用費	3	食糧費		
	需用費	4	燃料費		
	需用費	5	光熱水費		
	需用費	6	修繕料		
	需用費	7	賄材料費		
	需用費	8	医薬材料費		
	需用費		その他		
12	役務費			47	通知ハガキ郵送料(47.5円×1,000枚)
13	委託料				
14	使用料及び賃借料				
15	工事請負費				
16	原材料費				
17	公有財産購入費				
18	備品購入費				
19	負担金補助金及び交付金				
20	扶助費				
21	貸付金				
22	補償、補填及び賠償金				
23	償還金利子及び割引料				
24	投資及び出資金				
25	積立金				
26	寄附金				
27	公課費				
28	繰出金				
小計				1,415	
現金を伴わない支出小計				201	
・減価償却費(財産)				168	
・減価償却費(備品)				33	
・その他人件費					
・その他					
合計				1,616	

14. ヒアリング結果(公共サービス改革委員会が該当する項目に○印を記入)

A	現状の事業運営で問題ない		E	事業コストを削減すべき	
B	市の判断だけで見直しできない		F	実施方法等を改善すべき	○
C	時代&市民ニーズと調整すべき		G	他事業と統合すべき	
D	事業規模等を縮小すべき		H	廃止の方向で検討すべき	

事務事業診断書（改善シート）

1. 事業名 **就学时健康診断事業**

2. 所管課 **学校教育課** 3. No. **20-466**

4. 診断結果（※ 該当する項目に○印を記入し、所見を簡潔に記入ください。）

事業概要に対する診断

①目的

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

②対象

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

③手段

改善点は見られない	<input type="checkbox"/>	【所見】	・近年新たに明らかとなってきた様々な障がいに対して適切に対応できる体制が必要である。
改善点が若干見られる	<input type="radio"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

④成果

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

指標の評価に対する診断

実施学校数

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

参加内科医・歯科医数

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

健康診断受診率

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

教育相談件数

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

対象者及び受益者に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

コスト評価に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

収入状況に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

受益者負担金等不納欠損額及び収納率に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

支出状況に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

収支バランスに関する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

費用対効果からの診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

総合診断

改善点は見られない	<input type="checkbox"/>	【所見】	◇ヒアリング結果（A～H）選択理由
改善点が若干見られる	<input type="radio"/>		【Aの「現状の事業運営で問題ない」を選択した理由】
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

改善時期診断

①	次年度当初予算に反映すべき
	2年後の当初予算に反映
	3年後の当初予算に反映
	4年後の当初予算に反映
	改善時期は今後の課題

《診断者の改善案等意見欄》

①近年増加している障がいに関する対応を充実させるため、検診時に臨床心理士などの専門家を配置することで、保護者の不安を解消するとともに、児童の入学時における状況を早期に発見し、適切な教育環境を整備できるようにする。

【Aの「現状の事業運営で問題ない」を選択した理由】

【Bの「市の判断だけで見直しできない」を選択した理由】

【Cの「時代&市民ニーズと調整すべき」を選択した理由】

【Dの「事業規模等縮小すべき」を選択した理由】

【Eの「事業コストを削減すべき」を選択した理由】

【Fの「実施方法等を改善すべき」を選択した理由】

近年増加している障がいに関する適切な相談対応体制の整備が必要。

【Gの「他事業と統合すべき」を選択した理由】

【Hの「廃止の方向で検討すべき」を選択した理由】

公共サービス毎のフルコスト計算書

【平成20年度決算】

1. 事業名	生涯学習まちづくり出前講座事業				
2. 所管課	コミュニティ振興課	3. No.	20-119	4. 事業開始年度	1995
				(終了予定年度)	-
5. 財務科目	一般会計	2 款	1 項	8 目	171003
6. 事業コード					

7. 事業概要

目的 (何のために)	市民の生涯学習活動の機会の充実及び意識啓発及び行政事業のPRを図るため
対象 (何・誰を対象に)	市民または市の事業所に勤務している人(原則10人以上)で構成された団体・グループ
手段 (どんな事業を実施して)	市民等の団体が主催する集会等に市職員が講師として出向き、市政の説明、専門知識を生かした実習及び意見交換等を実施
成果 (どのような成果を期待するか)	市政の学習機会を広く提供することで、市民の生涯学習活動の推進をねらうもの

8. 指標の評価

	指標名(算式)	目標値	実績値	達成度	達成状況の分析及び達成状況に影響を与えた要因
活動指標①	設定講座数	63	66	104.76	平成20年度実績
活動指標②	出前講座実施回数	200	175	87.50	平成20年度実績
成果指標①	出前講座受講者	7,800	7,365	94.42	平成20年度実績
成果指標②	出前講座受講者の満足度	80	69	87.00	受講者アンケートから

9. 対象者及び受益者

対象者	94,676人	受益者	7,365人	比率	7.77%
-----	---------	-----	--------	----	-------

10. コスト評価

対象者1人あたりのフルコスト	20	円/人
受益者1人あたりのフルコスト	260	円/人
市民1人あたりのフルコスト	20	円/人

11. 収入

単位：千円

収入の種類	収入金額	主な収入内訳(名称等)
市税などの一般財源	1,405	
一般財源を除く小計		
使用料、手数料		
国庫支出金		
県支出金		
分担金、負担金等		
その他		
合計(=支出合計)	1,405	

12. (1) 受益者負担金等不納欠損額 0 円 (2) 受益者負担金等収納率 0.00 %

13. 支出

単位：千円

節	節名称	細節	細節名称	支出金額	主な使途
1	報酬				
2	給料			613	
3	職員手当等			543	
4	共済費			195	
5	災害補償費				
6	恩給及び退職年金				
7	賃金				
8	報償費				
9	旅費				
10	交際費				
11	需用費計			54	
	需用費	1	消耗品費		
	需用費	2	印刷製本費	54	
	需用費	3	食糧費		
	需用費	4	燃料費		
	需用費	5	光熱水費		
	需用費	6	修繕料		
	需用費	7	賄材料費		
	需用費	8	医薬材料費		
	需用費		その他		
12	役務費				
13	委託料				
14	使用料及び貸借料				
15	工事請負費				
16	原材料費				
17	公有財産購入費				
18	備品購入費				
19	負担金補助金及び交付金				
20	扶助費				
21	貸付金				
22	補償、補填及び賠償金				
23	償還金利子及び割引料				
24	投資及び出資金				
25	積立金				
26	寄附金				
27	公課費				
28	繰出金				
	小計			1,405	
	現金を伴わない支出小計			511	
	・減価償却費(財産)			426	
	・減価償却費(備品)			85	
	・その他人件費				
	・その他				
	合計			1,916	

14. ヒアリング結果(公共サービス改革委員会が該当する項目に○印を記入)

A	現状の事業運営で問題ない	E	事業コストを削減すべき	
B	市の判断だけで見直しできない	F	実施方法を改善すべき	○
C	時代&市民ニーズと調整すべき	G	他事業と統合すべき	
D	事業規模等を縮小すべき	H	廃止の方向で検討すべき	

事務事業診断書（改善シート）

1. 事業名 **生涯学習まちづくり出前講座事業**

2. 所管課 **コミュニティ振興課** 3. No. **20-119**

4. 診断結果（※ 該当する項目に○印を記入し、所見を簡潔に記入ください。）

事業概要に対する診断

①目的

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる			
大いに改善すべき			

②対象

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる			
大いに改善すべき			

③手段

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる			
大いに改善すべき			

④成果

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる			
大いに改善すべき			

指標の評価に対する診断

設定講座数

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる			
大いに改善すべき			

出前講座実施回数

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる			
大いに改善すべき			

出前講座受講者

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる			
大いに改善すべき			

出前講座受講者の満足度

改善点は見られない		【所見】	・目標値を下回っており、受講者の3人に1人は満足していない状況を改善する必要がある。
改善点が若干見られる	<input type="radio"/>		
大いに改善すべき			

対象者及び受益者に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる			
大いに改善すべき			

コスト評価に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる			
大いに改善すべき			

収入状況に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる			
大いに改善すべき			

受益者負担金等不納欠損額及び収納率に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる			
大いに改善すべき			

支出状況に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる			
大いに改善すべき			

収支バランスに関する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる			
大いに改善すべき			

費用対効果からの診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる			
大いに改善すべき			

総合診断

改善点は見られない		【所見】	◇ヒアリング結果（A～H）選択理由
改善点が若干見られる	<input type="radio"/>		【Aの「現状の事業運営で問題ない」を選択した理由】
大いに改善すべき			

改善時期診断

①	次年度当初予算に反映すべき
	2年後の当初予算に反映
	3年後の当初予算に反映
	4年後の当初予算に反映
	改善時期は今後の課題

《診断者の改善案等意見欄》

①住民の関心が高い分野、今後、市役所として住民等の理解を重点的に促進したい分野など、常にメニューの見直しと重点分野のメニューの充実を進めることにより、受講者の満足度の向上とともに、本事務事業の成果を高める必要がある。また、一層のPR活動に取り組み必要がある。

【Aの「現状の事業運営で問題ない」を選択した理由】

【Bの「市の判断だけで見直しできない」を選択した理由】

【Cの「時代&市民ニーズと調整すべき」を選択した理由】

【Dの「事業規模等縮小すべき」を選択した理由】

【Eの「事業コストを削減すべき」を選択した理由】

【Fの「実施方法等を改善すべき」を選択した理由】  
受講者の満足度が高まるよう、新しい課題に対応したメニューの更新と充実が必要。

【Gの「他事業と統合すべき」を選択した理由】

【Hの「廃止の方向で検討すべき」を選択した理由】

公共サービス毎のフルコスト計算書

【平成20年度決算】

1. 事業名	社会教育指導員（家庭教育担当）設置事業				
2. 所管課	社会教育課	3. No.	20-508	4. 事業開始年度	2002
				(終了予定年度)	-
5. 財務科目	一般会計	10 款	4 項	1 目	140017
6. 事業コード					

7. 事業概要

目的 (何のために)	子どもの健全な成長発達に責任を果たせる保護者のための家庭教育学級の指導者として、専門性の高い嘱託職員を設置する。
対象 (何・誰を対象に)	市内小中学校15校の家庭教育学級生637名（全保護者数 9,305名）
手段 (どんな事業を実施して)	各小中学校で、運営委員を中心に事業計画を立て、子育てに関する内容で年間7講座を実施。また、15校合同の学習会を年間3回実施。
成果 (どのような成果を期待するか)	家庭教育に関する研鑽を積み、自信を持って子育てができる資質と実践力を培い、保護者の教育的役割の向上を目指す。

8. 指標の評価

	指標名(算式)	目標値	実績値	達成度	達成状況の分析及び達成状況に影響を与えた要因
活動指標①	各小中学校での事業開催数	105	118	112.38	運営委員の活動意欲が発揮された。
活動指標②	家庭教育学級生の確保	675	637	94.37	運営委員をはじめ学級生の情報提供によるもの
成果指標①	家庭教育学級生の出席(平均)数	320	273	85.31	運営委員の学習意欲
成果指標②	合同学習会への参加参加者(平均)数	200	189	94.50	子育てに不安を持つ親たちが期待する講師の選定

9. 対象者及び受益者

対象者	7,992人	受益者	637人	比率	7.97%
-----	--------	-----	------	----	-------

10. コスト評価

対象者1人あたりのフルコスト	258	円/人
受益者1人あたりのフルコスト	3,243	円/人
市民1人あたりのフルコスト	21	円/人

11. 収入

単位：千円

収入の種類	収入金額	主な収入内訳(名称等)
市税などの一般財源	2,066	
一般財源を除く小計		
使用料、手数料		
国庫支出金		
県支出金		
分担金、負担金等		
その他		
合計(=支出合計)	2,066	

12. (1) 受益者負担金等不納欠損額 0 円 (2) 受益者負担金等収納率 0.00 %

13. 支出

単位：千円

節	節名称	細節	細節名称	支出金額	主な使途
1	報酬				
2	給料				
3	職員手当等				
4	共済費				
5	災害補償費				
6	恩給及び退職年金				
7	賃金			2,066	
8	報償費				
9	旅費				
10	交際費				
11	需用費計				
	需用費	1	消耗品費		
	需用費	2	印刷製本費		
	需用費	3	食糧費		
	需用費	4	燃料費		
	需用費	5	光熱水費		
	需用費	6	修繕料		
	需用費	7	賄材料費		
	需用費	8	医薬材料費		
	需用費		その他		
12	役務費				
13	委託料				
14	使用料及び賃借料				
15	工事請負費				
16	原材料費				
17	公有財産購入費				
18	備品購入費				
19	負担金補助金及び交付金				
20	扶助費				
21	貸付金				
22	補償、補填及び賠償金				
23	償還金利子及び割引料				
24	投資及び出資金				
25	積立金				
26	寄附金				
27	公課費				
28	繰出金				
	小計			2,066	
	現金を伴わない支出小計				
	・減価償却費(財産)				
	・減価償却費(備品)				
	・その他人件費				
	・その他				
	合計			2,066	

14. ヒアリング結果(公共サービス改革委員会が該当する項目に○印を記入)

A	現状の事業運営で問題ない		E	事業コストを削減すべき	
B	市の判断だけで見直しできない		F	実施方法等を改善すべき	
C	時代&市民ニーズと調整すべき		G	他事業と統合すべき	○
D	事業規模等を縮小すべき		H	廃止の方向で検討すべき	

事務事業診断書（改善シート）

1. 事業名 **社会教育指導員（家庭教育担当）設置事業**

2. 所管課 **社会教育課** 3. No. **20-508**

4. 診断結果（※ 該当する項目に○印を記入し、所見を簡潔に記入ください。）

事業概要に対する診断

①目的

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

②対象

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

③手段

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

④成果

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

指標の評価に対する診断

各小中学校での事業開催数

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

家庭教育学級生の確保

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

家庭教育学級生の出席（平均）数

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

合同学習会への参加参加者（平均）数

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

対象者及び受益者に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

コスト評価に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

収入状況に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

受益者負担金等不納欠損額及び収納率に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

支出状況に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

収支バランスに関する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

費用対効果からの診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

総合診断

改善点は見られない	<input type="checkbox"/>	【所見】	◇ヒアリング結果（A～H）選択理由
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		【Aの「現状の事業運営で問題ない」を選択した理由】
大いに改善すべき	<input type="radio"/>		

改善時期診断

①	次年度当初予算に反映すべき
	2年後の当初予算に反映
	3年後の当初予算に反映
	4年後の当初予算に反映
	改善時期は今後の課題

《診断者の改善案等意見欄》

H20年度に診断の同和教育担当設置と同じ取り扱い（予算書に章立てしないで、別の事業に統合）

	【Dの「事業規模等縮小すべき」を選択した理由】
	【Eの「事業コストを削減すべき」を選択した理由】
	【Fの「実施方法等を改善すべき」を選択した理由】
	【Gの「他事業と統合すべき」を選択した理由】
	社会教育指導員設置だけを単独の事務事業とするのは適切ではない。
	【Hの「廃止の方向で検討すべき」を選択した理由】

公共サービス毎のフルコスト計算書

【平成20年度決算】

1. 事業名 **成人式開催事業**  
 2. 所管課 **社会教育課** 3. No. **20-517** 4. 事業開始年度 **-**  
 (終了予定年度) **-**  
 5. 財務科目 **一般会計** **10** 款 **4** 項 **4** 目 6. 事業コード **145004**

7. 事業概要

目的 (何のために)	新成人を祝うとともに、成人としての責任の自覚を促す。
対象 (何・誰を対象に)	昭和60年4月2日から昭和61年4月1日までに生まれた新成人
手段 (どんな事業を実施して)	実行委員会を組織して、記念式典の開催
成果 (どのような成果を期待するか)	新成人となる当事者が、実行委員として企画・運営することで、地域リーダーとしての意識醸成を図る。

8. 指標の評価

	指標名 (算式)	目標値	実績値	達成度	達成状況の分析及び達成状況に影響を与えた要因
活動指標①	実行委員数	15	10	66.66	市広報・HP等で募集しているが応募がなく、中学生当時の担任・クラブ活動顧問等からの紹介で、直接交渉し確保している。
活動指標②	実行委員会回数	10	7	70.00	実行委員会全体の会合以外に、企画内容によるメッセージやビデオレター作りのための作業など、活動した回数ははるかに多い。
成果指標①	成人式参加者率	80	80	100.75	会場が中心部で収容できるキヤバであり、小さい頃から利用した親しみやすい施設であるためか、近隣市と比較しても参加率は高い。
成果指標②					

9. 対象者及び受益者

対象者	1,019人	受益者	821人	比率	80.56%
-----	--------	-----	------	----	--------

10. コスト評価

対象者1人あたりのフルコスト	5,755	円/人
受益者1人あたりのフルコスト	7,143	円/人
市民1人あたりのフルコスト	61	円/人

11. 収入

単位：千円

収入の種類	収入金額	主な収入内訳 (名称等)
市税などの一般財源	4,970	
一般財源を除く小計		
使用料、手数料		
国庫支出金		
県支出金		
分担金、負担金等		
その他		
合計 (=支出合計)	4,970	

12. (1) 受益者負担金等不納欠損額 **0** 円 (2) 受益者負担金等収納率 **0.00** %

13. 支出

単位：千円

節	節名称	細節	細節名称	支出金額	主な使途
1	報酬				
2	給料			1,841	
3	職員手当等			1,631	
4	共済費			587	
5	災害補償費				
6	恩給及び退職年金				
7	賃金				
8	報償費			450	
9	旅費				
10	交際費				
11	需用費計			194	
	需用費	1	消耗品費	122	
	需用費	2	印刷製本費	72	
	需用費	3	食糧費		
	需用費	4	燃料費		
	需用費	5	光熱水費		
	需用費	6	修繕料		
	需用費	7	賄材料費		
	需用費	8	医薬材料費		
	需用費		その他		
12	役員費			48	
13	委託料			39	
14	使用料及び賃借料			180	
15	工事請負費				
16	原材料費				
17	公有財産購入費				
18	備品購入費				
19	負担金補助金及び交付金				
20	扶助費				
21	貸付金				
22	補償、補填及び賠償金				
23	償還金利子及び割引料				
24	投資及び出資金				
25	積立金				
26	寄附金				
27	公課費				
28	繰出金				
	小計			4,970	
	現金を伴わない支出小計			895	
	・減価償却費 (財産)			746	
	・減価償却費 (備品)			149	
	・その他人件費				
	・その他				
	合計			5,865	

14. ヒアリング結果 (公共サービス改革委員会が該当する項目に○印を記入)

A	現状の事業運営で問題ない	E	事業コストを削減すべき	
B	市の判断だけで見直しできない	F	実施方法を改善すべき	○
C	時代&市民ニーズと調整すべき	G	他事業と統合すべき	
D	事業規模等を縮小すべき	H	廃止の方向で検討すべき	

事務事業診断書（改善シート）

1. 事業名 **成人式開催事業**

2. 所管課 **社会教育課** 3. No. **20-517**

4. 診断結果（※ 該当する項目に○印を記入し、所見を簡潔に記入ください。）

事業概要に対する診断

①目的

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる			
大いに改善すべき			

②対象

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる			
大いに改善すべき			

③手段

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる			
大いに改善すべき			

④成果

改善点は見られない		【所見】	・本事務事業が目指すべき成果のごく一部しか表されていない。実行委員として参加しない、成人式に参加するその他大勢の成人に関する成果を中心に記述するべきである。
改善点が若干見られる			
大いに改善すべき	<input type="radio"/>		

指標の評価に対する診断

実行委員数

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる			
大いに改善すべき			

実行委員会回数

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる			
大いに改善すべき			

成人式参加者率

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる			
大いに改善すべき			

改善点は見られない		【所見】	・新成人が、成人式に参加したことにより「成人としての責任の自覚を促す」に関してどの様に自覚が促されたのかを測定する成果指標が必要である。
改善点が若干見られる			
大いに改善すべき	<input type="radio"/>		

対象者及び受益者に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる			
大いに改善すべき			

コスト評価に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる			
大いに改善すべき			

収入状況に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる			
大いに改善すべき			

受益者負担金等不納欠損額及び収納率に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる			
大いに改善すべき			

支出状況に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる			
大いに改善すべき			

収支バランスに関する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる			
大いに改善すべき			

費用対効果からの診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる			
大いに改善すべき			

総合診断

改善点は見られない		【所見】	◇ヒアリング結果（A～H）選択理由
改善点が若干見られる	<input type="radio"/>		【Aの「現状の事業運営で問題ない」を選択した理由】
大いに改善すべき			

改善時期診断

①	次年度当初予算に反映すべき
	2年後の当初予算に反映
	3年後の当初予算に反映
	4年後の当初予算に反映
	改善時期は今後の課題

《診断者の改善案等意見欄》

①成人式の参加者に対して、成人式に参加したことにより成人としての責任に関する自覚がどの様に変わったのかのアンケート調査を実施し、本事務事業が期待している成果を上げているのか否かを調査・分析する必要がある。その上で、単に参加率を高めるためだけでなく、成人としての責任の自覚を高めるための式の内容に改善していく必要がある。

【Aの「現状の事業運営で問題ない」を選択した理由】

--

【Bの「市の判断だけで見直しできない」を選択した理由】

--

【Cの「時代&市民ニーズと調整すべき」を選択した理由】

--

【Dの「事業規模等縮小すべき」を選択した理由】

--

【Eの「事業コストを削減すべき」を選択した理由】

--

【Fの「実施方法等を改善すべき」を選択した理由】

成人式に参加した事による「成人としての責任の自覚」の変化を高める改善が必要。
--

【Gの「他事業と統合すべき」を選択した理由】

--

【Hの「廃止の方向で検討すべき」を選択した理由】

--

公共サービス毎のフルコスト計算書

【平成20年度決算】

1. 事業名 **北市民プール運営管理事業**  
 2. 所管課 **スポーツ課** 3. No. **20-553** 4. 事業開始年度 **1971**  
 (終了予定年度) **-**  
 5. 財務科目 **一般会計** **10** 款 **5** 項 **2** 目 6. 事業コード **150011**

7. 事業概要

目的 (何のために)	水泳及び水遊びの場の提供によるレクリエーションの推進のために市民プールを運営管理する。
対象 (何・誰を対象に)	市民
手段 (どんな事業を実施して)	プール開場日数：45日間（7月17日～8月31日）（第3火曜日休場） プール開放時間：10時～19時 プールの種類：25mプール、幼児用プール、スライダープール（スライダー2本）
成果 (どのような成果を期待するか)	多くの人に利用してもらい、安全な水遊び場を提供する。

8. 指標の評価

	指標名 (算式)	目標値	実績値	達成度	達成状況の分析及び達成状況に影響を与えた要因
活動指標①	開場日数	45	45	100.00	屋外プールのため天候に左右されるが、天候による丸1日の休場はない。
活動指標②	天候以外理由による休止回数	0	2		20年度は、ろ過機の故障によるウォータースライダーの休止が2回あった。これをゼロ回にする。
成果指標①	土日祝の稼働率	75	71	95.20	日曜日は、1,000人を超えることがあるが、土曜の利用者が600人程度である。
成果指標②	平日（土日祝を除いた日）の稼働率	50	44	89.00	日曜は、親子での利用が見られるが、平日は子どもだけの利用となることが多いために、稼働率は低くなっている。

9. 対象者及び受益者

対象者	94,676人	受益者	22,183人	比率	23.43%
-----	---------	-----	---------	----	--------

10. コスト評価

対象者1人あたりのフルコスト	135	円/人
受益者1人あたりのフルコスト	576	円/人
市民1人あたりのフルコスト	135	円/人

11. 収入

単位：千円

収入の種類	収入金額	主な収入内訳 (名称等)
市税などの一般財源	8,532	
一般財源を除く小計	2,957	
使用料、手数料	2,957	市民プール使用料
国庫支出金		
県支出金		
分担金、負担金等		
その他		
合計 (=支出合計)	11,489	

12. (1) 受益者負担金等不納欠損額 **0** 円 (2) 受益者負担金等収納率 **100.00** %

13. 支出

単位：千円

節	節名称	細節	細節名称	支出金額	主な使途
1	報酬				
2	給料			1,350	
3	職員手当等			1,196	
4	共済費			430	
5	災害補償費				
6	恩給及び退職年金				
7	賃金				
8	報償費				
9	旅費				
10	交際費				
11	需用費計			870	
	需用費	1	消耗品費	190	
	需用費	2	印刷製本費		
	需用費	3	食糧費		
	需用費	4	燃料費		
	需用費	5	光熱水費	366	
	需用費	6	修繕料	314	
	需用費	7	賄材料費		
	需用費	8	医薬材料費		
	需用費		その他		
12	役務費			740	
13	委託料			6,903	
14	使用料及び賃借料				
15	工事請負費				
16	原材料費				
17	公有財産購入費				
18	備品購入費				
19	負担金補助金及び交付金				
20	扶助費				
21	貸付金				
22	補償、補填及び賠償金				
23	償還金利子及び割引料				
24	投資及び出資金				
25	積立金				
26	寄附金				
27	公課費				
28	繰出金				
	小計			11,489	
	現金を伴わない支出小計			1,309	
	・減価償却費 (財産)			1,091	
	・減価償却費 (備品)			218	
	・その他人件費				
	・その他				
	合計			12,798	

14. ヒアリング結果 (公共サービス改革委員会が該当する項目に○印を記入)

A	現状の事業運営で問題ない		E	事業コストを削減すべき	
B	市の判断だけで見直しできない		F	実施方法を改善すべき	
C	時代&市民ニーズと調整すべき	○	G	他事業と統合すべき	
D	事業規模等を縮小すべき		H	廃止の方向で検討すべき	

事務事業診断書（改善シート）

1. 事業名 **北市民プール運営管理事業**

2. 所管課 **スポーツ課** 3. No. **20-553**

4. 診断結果（※ 該当する項目に○印を記入し、所見を簡潔に記入ください。）

事業概要に対する診断

①目的

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

②対象

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

③手段

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

④成果

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

指標の評価に対する診断

開場日数

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

天候以外理由による休止回数

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

土日祝の稼働率

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

平日（土日祝を除いた日）の稼働率

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

対象者及び受益者に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

コスト評価に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

収入状況に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

受益者負担金等不納欠損額及び収納率に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

支出状況に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

収支バランスに関する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

費用対効果からの診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・今後も日別・時間帯別の利用者数の分析などを行い、一層の費用対効果の向上に向けた営業日・営業時間帯の見直しを行う必要がある。
改善点が若干見られる	<input type="radio"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

総合診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	◇ヒアリング結果（A～H）選択理由
改善点が若干見られる	<input type="radio"/>		【Aの「現状の事業運営で問題ない」を選択した理由】
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

改善時期診断

①	次年度当初予算に反映すべき
	2年後の当初予算に反映
	3年後の当初予算に反映
	4年後の当初予算に反映
	改善時期は今後の課題

《診断者の改善案等意見欄》

①日別・時間帯別の利用者数の分析などを行い、一層の費用対効果の向上に向けた営業日・営業時間帯の見直し（縮小方向を前提に）を行う必要がある。

【Aの「現状の事業運営で問題ない」を選択した理由】

【Bの「市の判断だけで見直しできない」を選択した理由】

【Cの「時代&市民ニーズと調整すべき」を選択した理由】

利用者の日にち・時間帯等の分析を行い、市民ニーズに合致した営業とする必要がある。

【Dの「事業規模等縮小すべき」を選択した理由】

【Eの「事業コストを削減すべき」を選択した理由】

【Fの「実施方法等を改善すべき」を選択した理由】

【Gの「他事業と統合すべき」を選択した理由】

【Hの「廃止の方向で検討すべき」を選択した理由】

公共サービス毎のフルコスト計算書

【平成20年度決算】

1. 事業名	テニスコート施設維持管理事業				
2. 所管課	スポーツ課	3. No.	20-554	4. 事業開始年度	1997
5. 財務科目	一般会計	10 款	5 項	2 目	150014
6. 事業コード					

7. 事業概要

目的 (何のために)	テニス競技の普及を通じて、市民の健康の維持増進と生涯スポーツの普及・促進を図る。
対象 (何・誰を対象に)	市民 年間利用者人数 41,024人 過去5カ年間の年間最高利用者人数 46,800人
手段 (どんな事業を実施して)	開館日数：345日 休館日：毎月第3木曜、12月28日～1月4日 開館時間：9:00～21:00 施設数：2施設（赤坂テニスコート（3面）、旭ヶ丘テニスコート（4面））全天候型人工芝コート、夜間照明付
成果 (どのような成果を期待するか)	テニス競技の活動施設として、多くの人に利用してもらおう。

8. 指標の評価

	指標名 (算式)	目標値	実績値	達成度	達成状況の分析及び達成状況に影響を与えた要因
活動指標①	赤坂テニスコートの開館日数	345	345	100.00	
活動指標②	旭ヶ丘テニスコートの開館日数	345	345	100.00	
成果指標①	インターネットからの予約率	50	21	43.00	インターネット/総予約数
成果指標②	利用者人数	46,800	41,024	87.65	過去5年間の年間最高利用者人数46,800人との比較

9. 対象者及び受益者

対象者	94,676人	受益者	41,024人	比率	43.33%
-----	---------	-----	---------	----	--------

10. コスト評価

対象者1人あたりのフルコスト	72	円/人
受益者1人あたりのフルコスト	168	円/人
市民1人あたりのフルコスト	72	円/人

11. 収入

単位：千円

収入の種類	収入金額	主な収入内訳 (名称等)
市税などの一般財源	6,637	
一般財源を除く小計	5	
使用料、手数料	5	目的外使用料 (電柱)
国庫支出金		
県支出金		
分担金、負担金等		
その他		
合計 (=支出合計)	6,642	

12. (1) 受益者負担金等不納欠損額 0 円 (2) 受益者負担金等収納率 100.00 %

13. 支出

単位：千円

節	節名称	細節	細節名称	支出金額	主な使途
1	報酬				
2	給料			368	
3	職員手当等			326	
4	共済費			117	
5	災害補償費				
6	恩給及び退職年金				
7	賃金				
8	報償費				
9	旅費				
10	交際費				
11	需用費計				
	需用費	1	消耗品費		
	需用費	2	印刷製本費		
	需用費	3	食糧費		
	需用費	4	燃料費		
	需用費	5	光熱水費		
	需用費	6	修繕料		
	需用費	7	賄材料費		
	需用費	8	医薬材料費		
	需用費		その他		
12	役務費			39	
13	委託料			1,080	
14	使用料及び賃借料			41	
15	工事請負費			29	
16	原材料費				
17	公有財産購入費				
18	備品購入費				
19	負担金補助金及び交付金			4,642	
20	扶助費				
21	貸付金				
22	補償、補填及び賠償金				
23	償還金利子及び割引料				
24	投資及び出資金				
25	積立金				
26	寄附金				
27	公課費				
28	繰出金				
	小計			6,642	
	現金を伴わない支出小計			252	
	・減価償却費 (財産)			210	
	・減価償却費 (備品)			42	
	・その他人件費				
	・その他				
	合計			6,894	

14. ヒアリング結果 (公共サービス改革委員会が該当する項目に○印を記入)

A	現状の事業運営で問題ない	E	事業コストを削減すべき	
B	市の判断だけで見直しできない	F	実施方法を改善すべき	○
C	時代&市民ニーズと調整すべき	G	他事業と統合すべき	
D	事業規模等を縮小すべき	H	廃止の方向で検討すべき	

事務事業診断書（改善シート）

1. 事業名 テニスコート施設維持管理事業

2. 所管課 スポーツ課 3. No. 20-554

4. 診断結果（※ 該当する項目に○印を記入し、所見を簡潔に記入ください。）

事業概要に対する診断

①目的

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

②対象

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

③手段

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

④成果

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

指標の評価に対する診断

赤坂テニスコートの開館日数

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

旭ヶ丘テニスコートの開館日数

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

インターネットからの予約率

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

利用者人数

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

対象者及び受益者に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

コスト評価に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

収入状況に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

受益者負担金等不納欠損額及び収納率に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

支出状況に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

収支バランスに関する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

費用対効果からの診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

総合診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	◇ヒアリング結果（A～H）選択理由
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		【Aの「現状の事業運営で問題ない」を選択した理由】
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

改善時期診断

①	次年度当初予算に反映すべき	【Bの「市の判断だけで見直しできない」を選択した理由】
	2年後の当初予算に反映	
	3年後の当初予算に反映	
	4年後の当初予算に反映	
	改善時期は今後の課題	【Cの「時代&市民ニーズと調整すべき」を選択した理由】

《診断者の改善案等意見欄》

① 特に赤坂コートの利用拡大に向けたPR等の活動を充実する必要がある。

【Dの「事業規模等縮小すべき」を選択した理由】
【Eの「事業コストを削減すべき」を選択した理由】
【Fの「実施方法等を改善すべき」を選択した理由】 赤坂コートの利用拡大に向けた改善が必要。
【Gの「他事業と統合すべき」を選択した理由】
【Hの「廃止の方向で検討すべき」を選択した理由】

公共サービス毎のフルコスト計算書

【平成20年度決算】

1. 事業名	埋蔵文化財発掘調査事業（乙金第2）				
2. 所管課	ふるさと文化財課	3. No.	20-527	4. 事業開始年度	2006
				(終了予定年度)	2013
5. 財務科目	一般会計	10 款	4 項	2 目	143006
6. 事業コード					

7. 事業概要

目的 (何のために)	乙金第2区画整理事業地内に所在する埋蔵文化財の記録保存のため（根拠法令：文化財保護法）
対象 (何・誰を対象に)	市民（対象者・受益者についてはH21・3・31市民を設定）
手段 (どんな事業を実施して)	乙金第2区画整理地内（約41.4ha）の発掘調査
成果 (どのような成果を期待するか)	市民に対して、記録保存により地域の歴史・文化の解明に貢献すること

8. 指標の評価

	指標名（算式）	目標値	実績値	達成度	達成状況の分析及び達成状況に影響を与えた要因
活動指標①	発掘調査の実施	5,170	5,170	100.00	発掘調査の終了
活動指標②	試掘調査の実施	88,953	88,953	100.00	試掘調査の終了
成果指標①	発掘調査終了面積 (対前年比)	1,100	5,170	470.00	発掘調査の終了
成果指標②	発掘調査終了面積 (対事業面積比)	414,000	120,158	29.02	調査の終了

9. 対象者及び受益者

対象者	94,676 人	受益者	94,676 人	比率	100.00 %
-----	----------	-----	----------	----	----------

10. コスト評価

対象者1人あたりのフルコスト	841 円/人
受益者1人あたりのフルコスト	841 円/人
市民1人あたりのフルコスト	841 円/人

11. 収入

単位：千円

収入の種類	収入金額	主な収入内訳（名称等）
市税などの一般財源	43,711	
一般財源を除く小計	33,290	
使用料、手数料		
国庫支出金		
県支出金		
分担金、負担金等		
その他	33,290	
合計（=支出合計）	77,001	

12. (1) 受益者負担金等不納欠損額 0 円 (2) 受益者負担金等収納率 100.00 %

13. 支出

単位：千円

節	節名称	細節	細節名称	支出金額	主な使途
1	報酬				
2	給料			5,525	
3	職員手当等			4,895	
4	共済費			1,761	
5	災害補償費				
6	恩給及び退職年金				
7	賃金			34,376	
8	報償費				
9	旅費				
10	交際費				
11	需用費計			1,829	
	需用費	1	消耗品費	962	
	需用費	2	印刷製本費	861	
	需用費	3	食糧費		
	需用費	4	燃料費	6	
	需用費	5	光熱水費		
	需用費	6	修繕料		
	需用費	7	賄材料費		
	需用費	8	医薬材料費		
	需用費		その他		
12	役務費			91	
13	委託料			11,593	
14	使用料及び賃借料			16,709	
15	工事請負費				
16	原材料費			222	
17	公有財産購入費				
18	備品購入費				
19	負担金補助金及び交付金				
20	扶助費				
21	貸付金				
22	補償、補填及び賠償金				
23	償還金利子及び割引料				
24	投資及び出資金				
25	積立金				
26	寄附金				
27	公課費				
28	繰出金				
	小計			77,001	
	現金を伴わない支出小計			2,646	
	・減価償却費（財産）			2,204	
	・減価償却費（備品）			442	
	・その他人件費				
	・その他				
	合計			79,647	

14. ヒアリング結果（公共サービス改革委員会が該当する項目に○印を記入）

A 現状の事業運営で問題ない		E 事業コストを削減すべき	
B 市の判断だけで見直しできない		F 実施方法を改善すべき	○
C 時代&市民ニーズと調整すべき		G 他事業と統合すべき	
D 事業規模等を縮小すべき		H 廃止の方向で検討すべき	

事務事業診断書（改善シート）

1. 事業名 **埋蔵文化財発掘調査事業（乙金第2）**

2. 所管課 **ふるさと文化財課** 3. No. **20-527**

4. 診断結果（※ 該当する項目に○印を記入し、所見を簡潔に記入ください。）

事業概要に対する診断

①目的

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

②対象

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

③手段

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

④成果

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

指標の評価に対する診断

発掘調査の実施

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

試掘調査の実施

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

発掘調査終了面積（対前年比）

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

発掘調査終了面積（対事業面積比）

改善点は見られない	<input type="checkbox"/>	【所見】	・現在の進捗状況では、事業の終了予定年度である2013年度に計画どおり終了させることは、極めて困難であり、抜本的な対策が必要。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="radio"/>		

対象者及び受益者に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

コスト評価に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

収入状況に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

受益者負担金等不納欠損額及び収納率に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

支出状況に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

収支バランスに関する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

費用対効果からの診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】	・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>		

総合診断

改善点は見られない	<input type="checkbox"/>	【所見】	◇ヒアリング結果（A～H）選択理由
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>		【Aの「現状の事業運営で問題ない」を選択した理由】
大いに改善すべき	<input type="radio"/>		

改善時期診断

①	次年度当初予算に反映すべき
	2年後の当初予算に反映
	3年後の当初予算に反映
	4年後の当初予算に反映
	改善時期は今後の課題

《診断者の改善案等意見欄》

①現在の事業の進捗状況（発掘調査終了面積の割合が29.0%、平成20年度末で発掘調査が終了していない面積約39.6ha、平成20年度に発掘作業を実施完了した面積約0.5ha）から考えると2013年度に事業を完了することは極めて困難である。本事業の終了を待って、区画整理事業が進捗することから、区画整理事業への影響を回避するために、2013年度の事業完了に向けて、抜本的な改善を行う必要がある。具体的には、県や近隣市町村、大学等に対する人員体制を中心とした協力依頼や、民間への委託業務の拡大を早急に行う必要がある。

【Aの「現状の事業運営で問題ない」を選択した理由】

【Bの「市の判断だけで見直しできない」を選択した理由】

【Cの「時代&市民ニーズと調整すべき」を選択した理由】

【Dの「事業規模等縮小すべき」を選択した理由】

【Eの「事業コストを削減すべき」を選択した理由】

【Fの「実施方法等を改善すべき」を選択した理由】

本事務事業は、区画整理事業の計画に大きな影響を与えることから、2013年度完了予定に向けた抜本的な対策が必要。

【Gの「他事業と統合すべき」を選択した理由】

【Hの「廃止の方向で検討すべき」を選択した理由】

公共サービス毎のフルコスト計算書

【平成20年度決算】

1. 事業名	史跡対策委員会運営事業				
2. 所管課	ふるさと文化財課	3. No.	20-536	4. 事業開始年度	1972
				(終了予定年度)	2013
5. 財務科目	一般会計	10 款	4 項	2 目	143011
6. 事業コード					

7. 事業概要

目的 (何のために)	大野都市の史跡の整備及びこれに関する土地の買収等について適正な計画の樹立とその実施促進を図るため。
対象 (何・誰を対象に)	市民
手段 (どんな事業を実施して)	会議及び現地視察
成果 (どのような成果を期待するか)	史跡の整備・保存

8. 指標の評価

	指標名 (算式)	目標値	実績値	達成度	達成状況の分析及び達成状況に影響を与えた要因
活動指標①	開催回数	1	1	100.00	
活動指標②	出席者数	8	8	100.00	
成果指標①	審議項目数	5	5	100.00	
成果指標②	事業への反映状況	100	100	100.00	

9. 対象者及び受益者

対象者	8人	受益者	8人	比率	100.00%
-----	----	-----	----	----	---------

10. コスト評価

対象者1人あたりのフルコスト	298,500	円/人
受益者1人あたりのフルコスト	298,500	円/人
市民1人あたりのフルコスト	25	円/人

11. 収入

単位：千円

収入の種類	収入金額	主な収入内訳 (名称等)
市税などの一般財源	1,675	
一般財源を除く小計		
使用料、手数料		
国庫支出金		
県支出金		
分担金、負担金等		
その他		
合計 (=支出合計)	1,675	

12. (1) 受益者負担金等不納欠損額 0 円 (2) 受益者負担金等収納率 0.00 %

13. 支出

単位：千円

節	節名称	細節	細節名称	支出金額	主な使途
1	報酬			33	
2	給料			736	
3	職員手当等			652	
4	共済費			234	
5	災害補償費				
6	恩給及び退職年金				
7	賃金				
8	報償費				
9	旅費			20	
10	交際費				
11	需用費計				
	需用費	1	消耗品費		
	需用費	2	印刷製本費		
	需用費	3	食糧費		
	需用費	4	燃料費		
	需用費	5	光熱水費		
	需用費	6	修繕料		
	需用費	7	賄材料費		
	需用費	8	医薬材料費		
	需用費		その他		
12	役務費				
13	委託料				
14	使用料及び貸借料				
15	工事請負費				
16	原材料費				
17	公有財産購入費				
18	備品購入費				
19	負担金補助金及び交付金				
20	扶助費				
21	貸付金				
22	補償、補填及び賠償金				
23	償還金利子及び割引料				
24	投資及び出資金				
25	積立金				
26	寄附金				
27	公課費				
28	繰出金				
	小計			1,675	
	現金を伴わない支出小計			713	
	・減価償却費 (財産)			595	
	・減価償却費 (備品)			118	
	・その他人件費				
	・その他				
	合計			2,388	

14. ヒアリング結果 (公共サービス改革委員会が該当する項目に○印を記入)

A	現状の事業運営で問題ない	○	E	事業コストを削減すべき	
B	市の判断だけで見直しできない		F	実施方法を改善すべき	
C	時代&市民ニーズと調整すべき		G	他事業と統合すべき	
D	事業規模等を縮小すべき		H	廃止の方向で検討すべき	

事務事業診断書（改善シート）

1. 事業名 **史跡対策委員会運営事業**

2. 所管課 **ふるさと文化財課** 3. No. **20-536**

4. 診断結果（※ 該当する項目に○印を記入し、所見を簡潔に記入ください。）

事業概要に対する診断

①目的

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>	

②対象

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>	

③手段

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>	

④成果

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>	

指標の評価に対する診断

開催回数

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>	

出席者数

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>	

審議項目数

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>	

事業への反映状況

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>	

対象者及び受益者に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>	

コスト評価に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>	

収入状況に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>	

受益者負担金等不納欠損額及び収納率に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>	

支出状況に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>	

収支バランスに関する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>	

費用対効果からの診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>	

総合診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】◇ヒアリング結果（A～H）選択理由
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>	

改善時期診断

<input type="checkbox"/>	次年度当初予算に反映すべき
<input type="checkbox"/>	2年後の当初予算に反映
<input type="checkbox"/>	3年後の当初予算に反映
<input type="checkbox"/>	4年後の当初予算に反映
<input type="checkbox"/>	改善時期は今後の課題

《診断者の改善案等意見欄》

【Aの「現状の事業運営で問題ない」を選択した理由】

【Bの「市の判断だけで見直しできない」を選択した理由】

【Cの「時代&市民ニーズと調整すべき」を選択した理由】

【Dの「事業規模等縮小すべき」を選択した理由】

【Eの「事業コストを削減すべき」を選択した理由】

【Fの「実施方法等を改善すべき」を選択した理由】

【Gの「他事業と統合すべき」を選択した理由】

【Hの「廃止の方向で検討すべき」を選択した理由】

公共サービス毎のフルコスト計算書

【平成20年度決算】

1. 事業名	文化財保護審議会運営事業				
2. 所管課	ふるさと文化財課	3. No.	20-537	4. 事業開始年度	-
				(終了予定年度)	-
5. 財務科目	一般会計	10 款	4 項	2 目	143011
6. 事業コード					

7. 事業概要

目的 (何のために)	大野城市の文化財の保護の適正化を図る
対象 (何・誰を対象に)	大野城市内の文化財(審議の対象) 審議委員7名(報酬等の対象)
手段 (どんな事業を実施して)	文化財の保存及び活用に関する重要事項について調査審議する
成果 (どのような成果を期待するか)	上記事項について教育委員会に建議する

8. 指標の評価

	指標名(算式)	目標値	実績値	達成度	達成状況の分析及び達成状況に影響を与えた要因
活動指標①	文化財保護審議会の開催	2	2	100.00	20年7月29日と21年3月11日に審議会を開催した
活動指標②	審議委員の継続承認	7	7	100.00	20年5月22日付で全員の継続承認を得た
成果指標①	市内文化財の保存活用についての審議率	4	4	100.00	予定の案件すべてについての審議を行った
成果指標②	大野城市ふるさと文化財保存整備活用基本計画(案)についての審議率	1	1	100.00	予定の案件についての審議を行い、教育委員会に建議した

9. 対象者及び受益者

対象者	7人	受益者	7人	比率	100.00%
-----	----	-----	----	----	---------

10. コスト評価

対象者1人あたりのフルコスト	68,285	円/人
受益者1人あたりのフルコスト	68,285	円/人
市民1人あたりのフルコスト	5	円/人

11. 収入

単位: 千円

収入の種類	収入金額	主な収入内訳(名称等)
市税などの一般財源	1,596	
一般財源を除く小計		
使用料、手数料		
国庫支出金		
県支出金		
分担金、負担金等		
その他		
合計(=支出合計)	1,596	

12. (1) 受益者負担金等不納欠損額 0 円 (2) 受益者負担金等収納率 0.00 %

13. 支出

単位: 千円

節	節名称	細節	細節名称	支出金額	主な使途
1	報酬			44	
2	給料			63	
3	職員手当等				
4	共済費				
5	災害補償費				
6	恩給及び退職年金				
7	賃金				
8	報償費				
9	旅費			20	
10	交際費				
11	需用費計				
	需用費	1	消耗品費		
	需用費	2	印刷製本費		
	需用費	3	食糧費		
	需用費	4	燃料費		
	需用費	5	光熱水費		
	需用費	6	修繕料		
	需用費	7	賄材料費		
	需用費	8	医薬材料費		
	需用費		その他		
12	役務費				
13	委託料				
14	使用料及び賃借料				
15	工事請負費				
16	原材料費				
17	公有財産購入費				
18	備品購入費				
19	負担金補助金及び交付金				
20	扶助費				
21	貸付金				
22	補償、補填及び賠償金				
23	償還金利子及び割引料				
24	投資及び出資金				
25	積立金				
26	寄附金				
27	公課費				
28	繰出金				
	小計			127	
	現金を伴わない支出小計			351	
	・減価償却費(財産)			293	
	・減価償却費(備品)			58	
	・その他人件費				
	・その他				
	合計			478	

14. ヒアリング結果(公共サービス改革委員会が該当する項目に○印を記入)

A	現状の事業運営で問題ない	○	E	事業コストを削減すべき	
B	市の判断だけで見直しできない		F	実施方法を改善すべき	
C	時代&市民ニーズと調整すべき		G	他事業と統合すべき	
D	事業規模等を縮小すべき		H	廃止の方向で検討すべき	

事務事業診断書（改善シート）

1. 事業名 **文化財保護審議会運営事業**

2. 所管課 **ふるさと文化財課** 3. No. **20-537**

4. 診断結果（※ 該当する項目に○印を記入し、所見を簡潔に記入ください。）

事業概要に対する診断

①目的

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>	

②対象

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>	

③手段

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>	

④成果

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>	

指標の評価に対する診断

文化財保護審議会の開催

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>	

審議委員の継続承認

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>	

市内文化財の保存活用についての審議率

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>	

大野城市ふるさと文化財保存整備活用基本計画（案）についての審議率

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>	

対象者及び受益者に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>	

コスト評価に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>	

収入状況に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>	

受益者負担金等不納欠損額及び収納率に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>	

支出状況に対する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>	

収支バランスに関する診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>	

費用対効果からの診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】・特に問題点・課題はない。
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>	

総合診断

改善点は見られない	<input type="radio"/>	【所見】◇ヒアリング結果（A～H）選択理由
改善点が若干見られる	<input type="checkbox"/>	【Aの「現状の事業運営で問題ない」を選択した理由】
大いに改善すべき	<input type="checkbox"/>	

改善時期診断

<input type="checkbox"/>	次年度当初予算に反映すべき	【Bの「市の判断だけで見直しできない」を選択した理由】
<input type="checkbox"/>	2年後の当初予算に反映	
<input type="checkbox"/>	3年後の当初予算に反映	
<input type="checkbox"/>	4年後の当初予算に反映	
<input type="checkbox"/>	改善時期は今後の課題	

《診断者の改善案等意見欄》

	【Dの「事業規模等縮小すべき」を選択した理由】
	【Eの「事業コストを削減すべき」を選択した理由】
	【Fの「実施方法等を改善すべき」を選択した理由】
	【Gの「他事業と統合すべき」を選択した理由】
	【Hの「廃止の方向で検討すべき」を選択した理由】

フルコスト計算書診断結果に対する所管課改善方針・改善状況

所管課	診断年度	事務事業名	診断概要	改善方針	改善状況
教務課	20	小学校給食事業	・県学校給食会に対して、食材の安全性を確保するための方策(食材納入業者に対する監査の強化など)を要請する	① 診断のとおり改善	・県学校給食会に対して、学校給食で使用する食材の安全性を確認するための検査強化を要請し、実行されている。 ・委託業者の選定方法については、H21年度開始の業務分から価格競争方式へ変更した。 ・民間委託については、集中改革プランに掲げるH21年度までに7校の目標以上の8校を委託済。
			・次回の委託先選定時には、学校給食の委託化が一般化され、受け皿となる民間企業が充実していることや、委託業務に関して特段の問題が発生していないことを考慮し、総合評価方式から入札方式に変更するなど、より価格を重視した選定方式に変更する ・直営方式と委託方式で1校あたりのコスト差が2.4倍あることを考慮し、民間委託の前倒し実施を検討する(現在の約1,900万円のコスト差であれば、2名の職員が退職前であっても委託化によるメリットが発生する状況)	① 診断のとおり改善	
教務課	20	中学校給食事業	・現在の食料事情を考慮すると、あえて市費を投入してまで給食として牛乳を提供する必要性は大幅に低下している。よって、生徒の体力や健康状態を検証し、給食で牛乳を提供しない場合でも特段の大きな問題が発生しなければ、牛乳給食は廃止する。その際、自ら希望して昼食時に牛乳を摂取したい生徒のために、他団体の取り組み事例を検討の上、より安価な価格で入手できる手段を、別途提供する(自動販売機の設置など)	④ 診断とは別の方法で改善するよう検討中	・牛乳は、成長期にある中学生に特に必要なカルシウムが豊富で、その吸収率が高い食品である。文科省の給食栄養所要量基準においてカルシウムは重視され、学校でも牛乳の有用性を食育に絡んでおり、福岡県内の全中学校で給食に牛乳を用いているところである。全国では、希望制の団体も一部あるようだが、その飲用率は、ある団体では半数程度と聞く。また、価格については保護者負担1本44円で非常に安価であり、また、ランチサービス業務と兼務の職員を市で配置し、安全・衛生的に提供している。以上の現状に鑑み、今後の情勢を見極めながら対処したい。
教務課	20	小学校用地確保事業	・市としての借地料の設定基準を明確化し、その基準に基づき適正な価格で契約する。契約が難航する場合には、公正な契約を締結するために、裁判所をはじめとする第三者機関による判断を仰ぎ、透明性を確保する	④ 診断とは別の方法で改善するよう検討中	・契約当初からの交渉経緯を検証した結果、借地料の算出割合に個人差があり、一律に基準を設けることは困難である。今後は、契約の解除に向けて、土地を取得する方向で地権者と協議を進める。
教務課	21	奨学生資金制度運営事業	・給付金額の2倍にあたる職員人件費の削減が不可欠である。事務の効率化による業務量の削減や嘱託職員・臨時職員の積極的な活用による人件費の削減を行う必要がある ・本事業の意義は高いが、財源が基金の運用・取り崩しによるもので、現状では35年～40年で基金が無くなる試算の制度となっている。今後は、基金の拡充が必要であり、本基金への新たな寄付が生まれるよう、市民や事業者に対して、一定程度の基金が増額されるまでの間、継続的に積極的なPRを行うことが重要である	① 診断のとおり改善	・業務の合理化による業務量の削減を行い、業務の一部を臨時職員で対応することとした。 ・寄付金に関しては、今後広報等でPRを行うよう検討している。
教務課 (学校教育課)	21	就学援助費支給事務事業	・対象者に占める受益者の割合が非常に大きく、児童生徒6人に1人が支給対象となっている。本事業の目的が「経済的理由により就学が困難な児童生徒に対し援助を行う」とあるが、本当に16.9%の児童生徒が経済的理由により就学が困難な状況の中身の検証が必要である。ばらまきに該当する部分がある可能性が高い。具体的には、市単費による上乗せ分である「準要保護認定基準」について、筑紫地区の他の自治体と同様の基準による支給があるのか、その場合の認定基準はどの様に差異があるのか、対象者に占める受益者の割合はどの程度なのかを調査し、分析する	② 診断のとおり改善するよう検討中	・平成21年度の認定基準について、本市は市民税所得割額53,200円以下を対象者としており、筑紫地区4市1町の平均値52,900円と同等となっている。今後の調査等をもとに本市の同基準が筑紫地区他団体より上回るサービスであれば、内容を検討していきたい。
			・H22年度の調査・分析の結果、本市の「準要保護認定基準」が筑紫地区の他団体より上回るサービスであれば、同基準の廃止が望ましい。廃止により生じる財源は、学校教育のために必要で重要な事務事業のために利用することが望ましい	② 診断のとおり改善するよう検討中	
学校教育課	20	スクールカウンセラー事業	・生徒1人あたりの各校の相談件数やスクールカウンセラーの配置時間に大きな差異があることから、相談の実態を把握・分析し、スクールカウンセラー配置の基準を明確化する	④ 診断とは別の方法で改善するよう検討中	・県が派遣するスクールカウンセラーは県より各学校の割当時間が決定されてくる。配置時間が不足する場合は、各学校より県に追加の要望をしていくよう検討中。
学校教育課	20	保健管理事務事業	・備品購入にあたっては、事前に各校への調査を行い、その情報に基づき所管課としての備品の購入・更新計画(5年程度の期間)を策定し、計画に基づき購入事務を行う。計画に基づかない購入要望に対しては、事前に必要性・緊急性を検証した上で、可否を決定する	① 診断のとおり改善	・備品購入にあたっては、3ヶ年の備品購入計画を策定し、計画に基づき購入事務を行っている。なお、計画に基づかない購入要望に対しては、事前に必要性・緊急性を検証した上で、可否を決定している。
学校教育課	20	小学校児童定期健康診断事業	・現在、特命随意契約で委託している心臓検診について、県内の他団体の委託方法や全国の先進的な取り組み事例を調査の上、競争性を確保した委託先選定可能性を検討する。検討の結果、特命随意契約とせざるを得ない場合には、県内他団体の契約金額など調査し、委託金額の妥当性が説明できるようにする	① 診断のとおり改善	・検診の結果、特命随意契約とせざるを得ないと判断し、筑紫医師会と契約締結している。県内他団体の契約金額など調査し、委託金額が妥当であることを確認している。
学校教育課	20	小学校教職員定期健康診断事業	・特命随意契約で委託している健康診断の委託について、市職員の健康診断の実施方法や委託先の選定方法・委託金額、県内の他団体の委託方法などを調査の上、競争性を確保した委託先選定可能性を検討する。その際、夏休みなどの長期休暇や勤務時間外の時間を活用するなど、より費用対効果の高い健康診断が可能な形式を柔軟に検討する。検討の結果、特命随意契約とせざるを得ない場合には、県内他団体の委託金額との比較を行い、委託金額の妥当性が説明できるようにする	② 診断のとおり改善するよう検討中	・関係団体との協議の結果、当面は現行どおり継続することとし、委託先の選定方法の変更については、関係団体の理解を得た上で実施する。 ・本市の委託金額は、福岡県集団検診協議会が検診の質の担保のために定める最低限必要な基準額と同額である。
学校教育課	20	中学校生徒定期健康診断事業	・現在、特命随意契約で委託している心臓検診について、県内の他団体の委託方法や全国の先進的な取り組み事例を調査の上、競争性を確保した委託先選定可能性を検討する。検討の結果、特命随意契約とせざるを得ない場合には、県内他団体の契約金額など調査し、委託金額の妥当性が説明できるようにする	① 診断のとおり改善	・検診の結果、特命随意契約とせざるを得ないと判断し、筑紫医師会と契約締結している。県内他団体の契約金額など調査し、委託金額が妥当であることを確認している。
学校教育課	20	中学校教職員定期健康診断事業	・特命随意契約で委託している健康診断の委託について、市職員の健康診断の実施方法や委託先の選定方法・委託金額、県内の他団体の委託方法などを調査の上、競争性を確保した委託先選定可能性を検討する。その際、夏休みなどの長期休暇や勤務時間外の時間を活用するなど、より費用対効果の高い健康診断が可能な形式を柔軟に検討する。検討の結果、特命随意契約とせざるを得ない場合には、県内他団体の委託金額との比較を行い、委託金額の妥当性が説明できるようにする	② 診断のとおり改善するよう検討中	・関係団体との協議の結果、当面は現行どおり継続することとし、委託先の選定方法の変更については、関係団体の理解を得た上で実施する。 ・本市の委託金額は、福岡県集団検診協議会が検診の質の担保のために定める最低限必要な基準額と同額である。

フルコスト計算書診断結果に対する所管課改善方針・改善状況

所管課	診断年度	事務事業名	診断概要	改善方針	改善状況
学校教育課	20	小学校教材確保事業	・必要性・重要性・優先度の観点から、真に必要な教材のみが購入されるよう、学校独自で購入する備品について、過去数年間の備品の購入実績(購入時期・購入品名・購入価格など)を分析し、一定金額以上の備品を対象に、具体的に活用する授業の明確化や代替手段が無いことなどを事前に検証する。また、予算消化のための備品購入とならないよう、特に年度末に近い時期の検証を厳格化する	② 診断のとおり改善するよう検討中	・教材購入前に事前検証する仕組みを検討中。また、年度末に近い時期の備品購入を控えさせるために、早い時期での購入計画から支払いまでの完結を学校に指導し、配当予算の年内での引上げ措置を実施している。
学校教育課	20	中学校教材確保事業	・必要性・重要性・優先度の観点から、真に必要な教材のみが購入されるよう、学校独自で購入する備品について、過去数年間の備品の購入実績(購入時期・購入品名・購入価格など)を分析し、一定金額以上の備品を対象に、具体的に活用する授業の明確化や代替手段が無いことなどを事前に検証する。また、予算消化のための備品購入とならないよう、特に年度末に近い時期の検証を厳格化する	② 診断のとおり改善するよう検討中	・教材購入前に事前検証する仕組みを検討中。また、年度末に近い時期の備品購入を控えさせるために、早い時期での購入計画から支払いまでの完結を学校に指導し、配当予算の年内での引上げ措置を実施している。
学校教育課	21	外国語指導助手(ALT)設置事業	・ALTの有効活用を促進するために、各学校でどのようにALTを活用して英語学習が行われているか把握するための研究授業や、ALTの活動の成果と課題を聞く研修会などを開き、情報の共有と成功・優良事例の普及が必要。また、放課後のクラブ活動を中心にALT独自の取り組みを拡充することも有用である	② 診断のとおり改善するよう検討中	・有効な活用方法等の研究や研修会開催等についての協議ができるように、ALT活用運営委員会(仮)の設置を検討中。また、活用状況の把握するために、各学校へ調査を実施している。
学校教育課	21	適応指導教室設置運営事業	・不登校児童生徒に占める適応指導教室へ来る児童生徒の割合が12.2%に留まっている。本事業の成果を拡大させるためには、より多くの不登校児童生徒が適応指導教室に来るようになることが不可欠である。そのため、不登校児童生徒に対して、適応指導教室に来ていた児童生徒OBが直接的・間接的に体験談等を交えた適応指導教室の有用性を訴える機会を設けるなどの取り組みが必要である ・指導に当たるヤングアドバイザーの専任に当たっては、より専門知識を有し、類似活動経験のある人を専任できるように改善する ・本事務事業の診断において不可欠な指導員の配置に係るコストが他の事務事業の扱いになりにくいこと、適切な診断ができない。教育委員会所管の事務事業には、本事務事業以外にも指導員等の配置とその指導員等が行っている事業が見られるので、それらはすべて統合して1つの事務事業とする必要がある	④ 診断とは別の方法で改善するよう検討中	・不登校の問題は一人一人状況が異なるので、一律な働きかけではなく個別に対応している。また、来年度より不登校サポートの臨時職員を学校に配置する。 ・できるだけ年齢が近く、心理学等に関わり、子どもたちと接することが好きな大学生をヤングアドバイザーとして選任している。 ・事務事業(配置事業と運営事業)の統合を自治経営課と協議検討中。
学校教育課	21	指導主事配置事業	・本事務事業の診断において不可欠な指導主事の実際の活動の実施に係るコストやその成果が他の事務事業の扱いになりにくいこと、適切な診断ができない。教育委員会所管の事務事業には、本事務事業以外にも指導員等の配置とその指導員等が行っている事業が見られるので、それらはすべて統合して1つの事務事業とする必要がある。その上で、改めてフルコスト計算書診断を行う必要がある。	④ 診断とは別の方法で改善するよう検討中	・指導主事は、保護者からの苦情・相談への対応、及び学校への支援・指導を行っており、その内容は独立したものである。学校への指導支援が一層充実するよう、指導主事の活用を図りたい。また、事務事業の統合は自治経営課と協議検討中。
学校教育課	21	スクールアドバイザー派遣事業	・スクールアドバイザーが派遣されて実施している主な2業務(研修・相談対応)は、教育委員会の他の事務事業でも行っているもので、事務事業間で重複が見られる。今後は、研修については、他の教職員等に対する研修事業に統合し、研修事業一体として効率化・有効化を図る必要がある。個別事業に対する相談対応については、他の事務事業で行っている類似業務を本事務事業に一本化する。その上で、本事務事業を拡充する必要があるのであれば、事前に決めた曜日時間帯には定期的にスクールアドバイザーが派遣されるなど、より充実した相談対応体制とすることも考えられる	④ 診断とは別の方法で改善するよう検討中	・教職員の研修は「大野城市小中学校研修会等計画」に基づいて実施されている。スクールアドバイザーの相談業務は児童生徒、保護者、教員等へのカウンセリングや相談を行っており、今後より充実した相談体制を検討していきたい。
学校教育課	21	就学時健康診断事業	・近年増加している障がいに関する対応を充実させるため、検診時に臨床心理士などの専門家を配置することで、保護者の不安を解消するとともに、児童の入学時における状況を早期に発見し、適切な教育環境を整備できるようにする	④ 診断とは別の方法で改善するよう検討中	入学までの期間に保護者の不安を解消できるよう、臨床心理士等専門家の活用を含め、就学指導のあり方を今後検討していく。
文化学習課(社会教育課)	20	家庭教育学級事業	・目的の達成への貢献度の低い事業の内容となっていること、参加者が平日日中に参加可能な保護者に限定されており現在の保護者の環境に合っていないこと、家庭教育と関係性の薄い一般市民も対象となっていること、運営委員会方式にも関わらず職員業務量が過大であることから、現在の事業は一度廃止する。現在の学校単位の学習会は、自主活動団体へ移行し、必要であれば補助事業化する ・「家庭教育力低下を抑制する」、「教育に悩む保護者を解消する」などの目的の達成に貢献度の高い新規事業を改めて企画する。家庭教育指導員については、悩みを持つ保護者に対応した相談業務に活用するなど、上記目的に則した業務内容とする	③ 診断とは別の方法で改善	・各学校PTA活動と家庭教育学級運営委員の連携で各学校ごとの家庭教育学級が運営できるように、学校長・教頭等の指導・助言をしていただき、各学校の状況にあわせて運営をし、また、多数の保護者が参加できる環境づくりを行ってきたい。
文化学習課(社会教育課)	20	社会教育指導員(同和教育担当)設置事業	・「人権を尊ぶまちづくり」の満足度が極めて低い要因を分析し明らかにする。その上で、本事務事業を含めて、現在本市が実施している人権に関する全ての施策・事務事業が満足度の向上に貢献する内容となっているかどうかを検証する	③ 診断とは別の方法で改善	・「人権を尊ぶまちづくり」の調査項目から人権問題に関する意識調査とは市民の人権問題に関する意識度であり、満足度ではないと考える。人権問題についての認識・理解・意識については満足度として図れないものである。また、人権問題は多様で根深いものであり今なお存在していることをふまえ、さらに研修を重ねていく必要がある ・人権問題については、人間一生の課題であるし、種をまき、水を与え芽が出るのを待つという、まさに蒔きであるので、地道に継続していくほかに考える ・現在、市で実施している人権・同和教育に関する講演会や研修会を市民自らが主催していく研修会としていくことで市民の人権・同和教育の向上を図っている。このため、研修会等は、市と大野城市人権・同和教育研究協議会市民部会の主催として実施していくことから、将来的には市は共催・後援とした事業となるよう働きかけていく ・人権・同和教育に関する施策・事務事業については、市長部局と教育委員会がそれぞれ役割・施策があるので、現状のまま協力し合って事業を実施していくことが必要であると考える
文化学習課(社会教育課)	20	社会教育指導員(同和教育担当)設置事業	・検討結果に基づき、社会教育指導員が担うべき役割や従事すべき事務事業、業務内容を抜本的に見直す。同指導員が事務局長として従事している大野城市人権・同和教育研究協議会は、特に市民部会の活動が停滞していることから、活性化のための方策を検討し実施する ・本市の人権・同和教育に関する施策・事務事業が市長部局(人権女性政策課)と教育委員会に分かれて実施されていて、効率が悪く効果も低くなることから、人権に関する施策・事務事業の所管を組織を1本化する。必要に応じて、担当職員には兼務を発令する	③ 診断とは別の方法で改善	

フルコスト計算書診断結果に対する所管課改善方針・改善状況

所管課	診断年度	事務事業名	診断概要	改善方針	改善状況
文化学習課 (社会教育課)	20	人権・同和問題啓発事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「人権を尊ぶまちづくり」の満足度が極めて低い要因を明らかにする。その上で、人権に関する全ての施策・事務事業が満足度の向上に貢献しているのかを検証</li> <li>・検討結果に基づき、啓発するべき対象や内容・方法を十分に検討し、従来からの活動方法にとらわれずに、本当に効果が期待できる啓発事業に抜本的に見直す。具体的には、学校における保護者参観にあわせた研修の実施のように、他の目的で開催される研修・会議・イベント等にあわせて啓発事業を行うことや、作成した啓発冊子を活用した研修の実施が必要である</li> </ul>	③ 診断とは別の方法で改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上記でも述べたように、「人権を尊ぶまちづくり」の調査項目から、人権問題に関する意識調査とは違っていると考えられる。この満足度は市民の人権問題に関する意識度である</li> <li>・人権研修会等でのアンケートでは、ほぼ満足度は得られている。人権に関する啓発は継続であり、ようやく市民に周知されてきている。また、人権学習はそれぞれの団体が自主的に取り組むべき課題であるが、行政としての指導をしいことは責務である</li> <li>・啓発冊子については、全戸配布し、また出前講座等で活用している</li> <li>・人権・同和教育については、市長部局と教育委員会とで施策・事務事業を行っているが、協力し合って事業実施しているため、効果も悪くも低くなるという状態ではない。また、双方が啓発と教育というそれぞれの役割を持って事業実施しており、市長部局と教育委員会に必要な部所であると考えられる</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・本市の人権・同和に関する施策・事務事業が市長部局(人権女性政策課)と教育委員会に分かれて実施されていて、効率が悪く効果も低くなることから、人権に関する施策・事務事業の所管を組織を1本化する。必要に応じて、担当職員には兼務を発令する</li> </ul>	③ 診断とは別の方法で改善	
文化学習課 (みらい交流課)	20	国際交流事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・嘱託職員の事務局としての業務量を大幅に縮小し、他事業の従事量を拡大すべき</li> <li>・補助対象の事業の成果・効果を検証し、本事務事業の成果達成に真に寄与する事業に対する補助する仕組みの構築を検討すべき</li> <li>・国際交流事業の市民に対するPR方法を抜本的に改め、新規の参加者を拡大する方策を検討すべき</li> </ul>	② 診断のとおり改善するよう検討中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第5次総合計画を踏まえて、本市の国際化の推進については行政・団体・市民の役割を明確化する必要がある。国際交流協会の活性化や国際交流推進員の活用については、協会に対して現行事業の整理統合と効率運営の方法について協議を進めている。具体的には協会窓口の一本化による事務整理やアジア太平洋子ども会議事業をホストファミリーを中心としたネットワーク組織により実施した。さらに現行事業を見直しスクラップアンドビルドによる事業選択を進めていく必要がある</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・マンネリ化から、本事務事業の成果に対する貢献度が低下していると思われる。また、職員が国際交流協会の事業等に多くの人的貢献をしていることや、嘱託職員(国際交流推進員)の多くの業務が事務局業務となっており、協会の自立化が進んでいないことから、協会の役割・実施事業・運営体制を抜本的に見直すべき</li> <li>・国際交流基金の支出対象については、時代の変化に合わせた活用方針を明確化すべき</li> </ul>	② 診断のとおり改善するよう検討中	
文化学習課 (コミュニティ振興課)	20	まどかフェスティバル事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H19年度から実施しているイベントに関するCMの効果測定や、市内在住者・市外在住者の割合、まどかフェスティバルの問題点・課題や来場者の満足度等を把握し、継続的な改善に活用するために、来場者アンケートを実施する必要がある</li> </ul>	① 診断のとおり改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フルコスト計算書診断を受け、H20年度から来場者アンケートを実施している</li> <li>・フェスティバルの各イベントでアンケートを行い、549件の回答をいただいた(回収率46.8%)</li> <li>・アンケート結果については、分析を行い、次年度の改善に活かしている</li> </ul>
文化学習課 (コミュニティ振興課)	21	生涯学習まちづくり講座事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民の関心が高い分野、今後、市役所として住民等の理解を重点的に促進したい分野など、常にメニューの見直しと重点分野のメニューの充実を進めることにより、受講者の満足度の向上とともに、本事務事業の成果を高める必要がある。また、一層のPR活動に取り組む必要がある</li> </ul>	① 診断のとおり改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・満足度をまた利用したいという事項で示したので69.6%となっているが、分かりやすかったという設問では73.4%という数値となっている</li> <li>・メニューについては、毎年度末に住民ニーズやアンケート結果、社会情勢、組織体制を十分に勘案しながら修正・変更・廃止を行っている。このことをふまえ、一層のPRを行っていく</li> </ul>
文化学習課 (社会教育課)	21	成人式開催事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成人式の参加者に対して、成人式に参加したことにより成人としての責任に関する自覚がどの様に変化したのかのアンケート調査を実施し、本事務事業が期待している成果を上げているのか否かを調査・分析する必要がある。その上で、単に参加率を高めるだけでなく、成人としての責任の自覚を高めるための式の内容を改善していく必要がある</li> </ul>	① 診断のとおり改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成人としての責任に関する自覚がどの様に変化したのかを調査するため、H22年開催からアンケート調査を実施した。回収率が低かったため、次年度からは回収の方法について検討していく</li> <li>・新成人になったことを市・教育委員会でお祝いをするための事業が主目的であり、市長・教育長のあいさつや恩師からのメッセージなどから成人としての権利や義務について皆さんの言葉をいただき、これからの責務を十分に感じていると思う</li> <li>・8月に新成人を含む実行委員会を立ち上げ、何度も会議を重ね自分たちの行事として立案し行動する新成人のつどいとなっている</li> </ul>
スポーツ課	20	体育指導委員設置運営事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育指導委員の活動実態を把握・分析し、より効果の高い事業内容に変更する。具体的には、各定例会で、活動実績を報告させる</li> <li>・体育指導委員に対する報酬は活動実績に応じた支払いに変更する</li> <li>・福岡県体育指導委員協議会と中部地区体育指導員協議会の活動内容が類似することから、中部地区体育指導員協議会からの脱退に向けた調整を行う</li> </ul>	② 診断のとおり改善するよう検討中	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 活動計画又は活動報告を、定例会で行うようにする</li> <li>② 活動実績としては、地域での活動が主になっており、その活動が把握しにくいため、活動実績に応じての支払いには難しいと考えます。また、過去に活動実績ごとの報酬を年額報酬に変更した経緯があります。上記の理由により、体育指導委員として年間を通じて活動していただくという意味では、年額報酬が相応しいものと考えます。なお、定例会への出席率が低いことですので、体育指導委員として、毎月の定例会に出席できる方を選任するなど対応していきます。</li> <li>③ 中部地区体育指導委員協議会に出席している体育指導委員を通じて意思表示をしていきます。</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・団塊の世代の大量退職を踏まえ、男性を対象としたスポーツでの生きがいづくりに効果的上がる活動内容とする</li> </ul>	② 診断のとおり改善するよう検討中	
スポーツ課	21	北市民プール運営管理事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日別・時間帯別の利用者数の分析などを行い、一層の費用対効果の向上に向けた営業日・営業時間帯の見直し(縮小方向を前提に)を行う必要がある</li> </ul>	② 診断のとおり改善するよう検討中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・営業時間10時から19時を、利用者が激減する18時から19時をカットする方向で検討を行い、平成22年度から試行する予定です。</li> </ul>
スポーツ課	21	テニスコート施設維持管理事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に赤坂コートの利用拡大に向けたPR等の活動を充実させる必要がある</li> </ul>	① 診断のとおり改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者で、月刊誌への広告掲載を行った。</li> </ul>

フルコスト計算書診断結果に対する所管課改善方針・改善状況

所管課	診断年度	事務事業名	診断概要	改善方針	改善状況
ふるさと文化財課	20	歴史資料展示室運営事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史資料展示室の認知度、認知しているにも関わらず入室しない理由などを把握し、入室者数が極めて少ない要因を分析する。分析結果に基づき、入室者数を増加させるための対策を実施する（庁舎外から展示室の存在が分かるようにサインを設置する。まどかびあでの宣伝、まどかびあへの移設など）</li> <li>・入室者の入室曜日・時間帯を把握・分析した上で、入室者数が極めて少ない状況に対応して、稼働日数の大幅な削減を検討し、実施する。稼働日数の大幅な削減を行わない場合には、受付に嘱託職員を配置する方式を止め、入室者の求めに応じて嘱託職員が出向いて説明する方式に改める。これにより、嘱託職員を1名減員する</li> <li>・出前講座の内容を数パターンに統一し、準備作業を大幅に省力化する</li> </ul>	③ 診断とは別の方法で改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3階展示室前の窓に展示室のサインを設置した。また、地形模型（ジオラマ）をまどかびあに移設し、展示室のPRを行っている。</li> <li>・入室者に対する説明は求めに応じて行っている。</li> <li>・出前講座は各種のモデルを用意している。そして、依頼主のものと対応して修正することになっている。</li> <li>・嘱託職員については今後の推移を見ながら検討する。なお、古代山城サミットの実施に伴うためか、出前講座が急激に増大していて、嘱託職員が対応している。</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来的は出前講座を担う地域活動団体を育成し、市はそれを支援する方向で検討する</li> </ul>	② 診断のとおり改善するよう検討中	
ふるさと文化財課	20	文化財収蔵庫設置運営事務事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財について、その価値や重要性や活用可能性などを客観的に評価し、収蔵・保管に関するランク付けを行う。また、ランク付けに基づき、適切な収蔵・保管方法を検討する</li> </ul>	② 診断のとおり改善するよう検討中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二箇所の収蔵庫があるが、一箇所は他の用途に使用することで移転の検討が始まっている。このため、その他の収蔵庫も含めて抜本的な方針を検討する方針である。</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価・検討結果に基づき、価値や重要性の高い文化財とその他の文化財に分けて適切な収蔵・保管に変更することにより、経費増大を抑制する</li> </ul>		
ふるさと文化財課	21	埋蔵文化財発掘調査事業（乙金第2）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の事業の進捗状況（発掘調査終了面積の割合が29.0%、H20年度末で発掘調査が終了していない面積約39.6ha、H20年度に発掘作業を実施完了した面積約0.5ha）から考えるとH25年度に事業を完了することは極めて困難である。本事業の終了を待って、区画整理事業が進捗することから、区画整理事業への影響を回避するために、H25年度の事業完了に向けて、抜本的な改善を行う必要がある。具体的には、県や近隣市町村、大学等に対する人員体制を中心とした協力依頼や、民間への委託業務の拡大を早急に行う必要がある</li> </ul>	① 診断のとおり改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度夏に大谷大学の応援を受けた。</li> <li>・民間の発掘調査を請け負う会社に委託した。</li> <li>・県へ応援要請を行ったが県も調査を多く抱え多忙のためできなかった。近隣の自治体も多忙で応援の余裕がない。</li> </ul>